平成30年度
坂井市教育委員会の事務の管理及び
執行状況の点検・評価報告書

坂井市教育委員会

― 目　　次 ―

Ⅰ　はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

Ⅱ　点検・評価について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

Ⅲ　平成３０年度坂井市教育委員会の活動状況

１　教育委員会の会議開催等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

２　教育長・教育委員の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
２－１指導主事学校訪問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
２－２全国大会等出場激励会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

３　委員会、審議会等の審議状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

４　教育委員会関係の許認可の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

Ⅳ　教育委員会関係事業の取組実績
平成３０年度事業別施策の成果報告書
○ 教育総務課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
○ 学校教育課（給食センター）・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
○ 生涯学習スポーツ課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
○ 国体推進課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・43
○ 文化課（みくに龍翔館、丸岡城国宝化推進室）　・・・・ 44
○ 市立図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・52

Ⅴ　有識者からの意見　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55

Ⅰ　はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下、「地教行法」という。）の一部改正により、平成２０年４月から、毎年、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

【参考】
「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（抜粋）
（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）
第 26 条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第１項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

本報告書「平成３０年度坂井市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」（以下、「点検・評価報告書」という。）は、地教行法の規定に基づき、より効果的な教育行政の推進と市民の皆様に対する説明責任を果たすため、市教育委員会が平成３０年度の主要施策の取組結果とともに、教育委員会の各種活動状況について点検・評価をまとめたものです。

Ⅱ　点検・評価について

１　対象期間

平成３０年度（平成３０年４月～平成３１年３月）

２　点検・評価方法

（１）点検・評価報告書の作成

・　教育委員会において点検・評価報告書案を作成

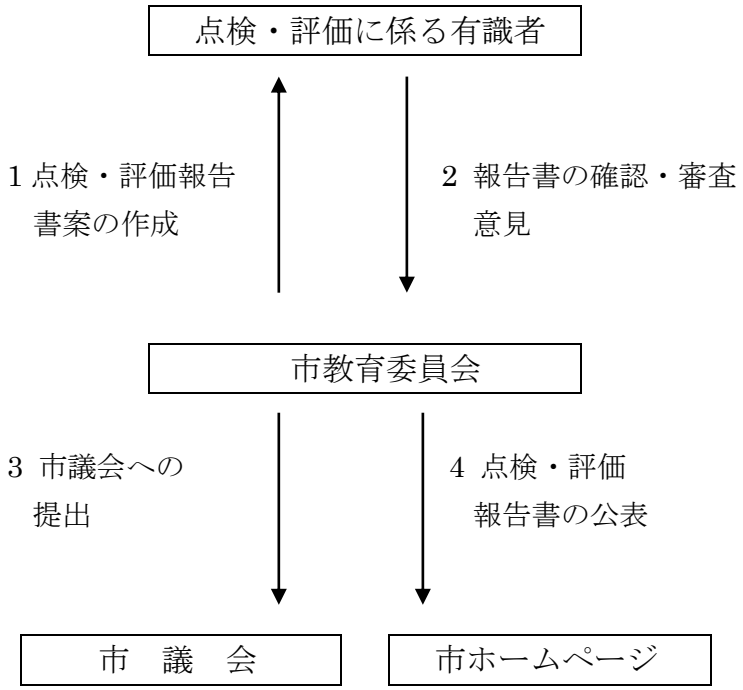
（２）点検・評価報告書の確認、審査

・　有識者による点検・評価報告書案の内容の確認及び審査

（３）点検・評価結果の公表

・　点検・評価報告書を市議会に提出するとともに、市のホームページにおいて公表

〔点検・評価フロー〕



Ⅲ　平成３０年度　坂井市教育委員会の活動状況

1　教育委員会の会議開催等の状況

(1) 坂井市教育委員会　教育長、委員

（平成３０年３月１２日現在）

	氏　名	職　業
委員長	牧田　靖夫	会社役員
委員（委員長職務代理者）	田中　典夫	公益財団理事
委員	若松　静榮	茶道教授
委員	宮﨑　美恵子	医療法人理事
委員（教育長）	川元　利夫	

（平成３０年５月１１日現在）

	氏　名	職　業
教育長	川元　利夫	
委員（教育長職務代理者）	田中　典夫	公益財団理事
委員	牧田　靖夫	会社役員
委員	宮﨑　美恵子	医療法人理事
委員	若松　静榮	茶道教授

(2) 教育委員会の開催状況

- 開催回数　　１３回
- 附議事項　　３０件

(3) 教育委員会審議案件

○　４月定例教育委員会〔平成３０年４月１８日（水)〕

議案第１号　坂井市学校事務共同実施組織責任者の指定について

議案第２号　坂井市立図書館協議会委員の承認について

○　５月臨時教育委員会〔平成３０年５月１１日（金)〕

議案第３号　坂井市教育委員会教育長職務代理者の指名について

議案第４号　坂井市教育委員会教育委員の席次の決定について

議案第５号　平成３０年度福井県義務教育諸学校教科用図書採択坂井地区協議会の設置および採択地区協議会の協議結果に基づき採択することに関

する議決について

○　５月定例教育委員会〔平成３０年５月２３日（水)〕
議案第６号　坂井市社会教育委員の承認について
議案第７号　坂井市青少年育成推進委員の承認について
議案第８号　坂井市青少年愛護センター運営委員の承認について
議案第９号　坂井市青少年愛護センター補導員の承認について
議案第１０号 坂井市一筆啓上日本一短い手紙の館運営審議会委員の承認について
議案第１１号 就学指定校の変更許可について

○　６月定例教育委員会〔平成３０年６月２１日（木)〕
議案なし

○　７月定例教育委員会〔平成３０年７月１９日（木)〕
議案第１２号 就学指定校の変更許可について

○　８月定例教育委員会〔平成３０年８月２３日（木)〕
議案第１３号 就学指定校の変更許可について
議案第１４号 坂井市春江陶芸工房条例施行規則の廃止について

○　９月定例教育委員会〔平成３０年９月１８日（火)〕
議案第１５号 就学指定校の変更許可について
議案第１６号 六呂瀬山古墳群調査整備委員会設置要綱の一部改正について

○　１０月定例教育委員会〔平成３０年１０月２５日（木)〕
議案第１７号 就学指定校の変更許可について

○　１１月定例教育委員会〔平成３０年１１月１９日（月)〕
議案なし

○　１２月定例教育委員会〔平成３０年１２月２６日（水)〕
議案第１８号 就学指定校の変更許可について
議案第１９号 坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について

○　１月定例教育委員会〔平成３１年１月２９日（火)〕
議案第２０号 坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について
議案第２１号 就学指定校の変更許可について

○　２月定例教育委員会〔平成３１年２月１８日（月)〕

議案第２２号 坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について

議案第２３号 坂井市教育委員会教育総務課所管補助金等交付要綱の一部改正について

議案第２４号 就学指定校の変更許可について

○　３月定例教育委員会〔平成３１年３月１３日（水)〕

議案第２５号 坂井市教育委員会表彰規則に基づく教育委員会表彰について

議案第２６号 坂井市キンダーホール三国条例施行規則の廃止について

議案第２７号 坂井市教育委員会の権限に属する事務委任及び補助執行に関する規則の制定について

議案第２８号 坂井市就学援助費支給要綱の一部改正について

議案第２９号 坂井市文化財保存活用地域計画協議会設置要綱の制定について

議案第３０号 就学指定校の変更許可について

２　教育長、教育委員の活動状況

	月　　日	委　　員　　名	活　動　内　容
1	平成30年4月1日	川元	坂井地区学校運営研究大会
2	4月2日	川元	教育委員会辞令交付式
3	4月3日	牧田、田中、若松、宮﨑、川元	教職員着任式
4	4月6日	牧田、田中、若松、宮﨑、川元	各中学校入学式
5	4月9日	牧田、田中、若松、宮﨑、川元	坂井市教育研究会総会
6	4月17日	川元	福井県都市教育長協議会総会・情報交換会
7	4月19日	川元	東海北陸都市教育長協議会定期総会・研究大会
8	4月26日	牧田、田中、若松、宮﨑、川元	福井県市町教育委員会連絡協議会総会・研修会
9	4月29日	田中、川元	坂井市スポーツ少年団入団式
10	5月8日	川元	北陸ブロックＢ＆Ｇ海洋センター連絡協議会総会
11	5月10日	牧田、田中、宮﨑、若松、川元	英国派遣団報告会
12	5月11日	川元、若松	教育委員辞令交付式（若松委員）
13	5月12日	川元、牧田、宮﨑、若松	坂井市ＰＴＡ連合会総会
14	5月13日	川元、田中、宮﨑、若松	第25回一筆啓上顕彰式
15	5月16日～18日	川元	全国都市教育長協議会総会・研究大会
16	5月18日	牧田	青少年育成坂井市民会議総会
17	5月19日	川元	坂井市成人大学開講式
18	5月20日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	小学校運動会（平章、高椋・春江・春江西・大石・春江東・東十郷）雨天のため5/20に順延
19		川元、田中、若松	鳴鹿地区体育祭
20	5月24日	川元、宮﨑	北前船記念式典
21	5月25日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	第１回坂井地区合同教育委員会
22	5月26日	川元、田中、宮﨑、若松	小学校運動会（明章、長畝、大関、兵庫、木部）
23	6月3日	川元、牧田、宮﨑	第13回坂井市古城マラソン
24	6月5日	川元	愛護センター補導員委嘱式及び研修会
25	6月10日	川元	ＪＡ花咲ふくい杯少年少女剣道坂井大会
26		川元	福井しあわせ元気国体　炬火イベント
27	6月13日	川元、田中、牧田、若松	坂井市小学校音楽会
28		川元、田中、牧田、若松	福井しあわせ元気国体坂井市実行委員会常任委員会・総会
29	6月14日	川元	福井県社会教育委員連絡協議会総会
30	6月16日	川元	福井県ＰＴＡ地区別研修会
31	6月20日	宮﨑	文化芸術による子供の育成事業
32	6月21日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	坂井地区中学校音楽会
33	6月27日	川元	福井県中学校教育研究会坂井ブロック研究集会
34	6月28日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	英国招へい団坂井市到着
35	6月29日	川元、若松	英国招へい団　春江中学校訪問、交流会
36	6月30日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	英国招へい団市長表敬訪問
37		川元、宮﨑、若松	第7回坂井市子ども文化祭～7/1
38	7月1日	川元	中部ふれあいのつどい
39	7月2日	川元、宮﨑	英国招へい団　丸岡中学校訪問、交流会
40	7月3日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	英国招へい団　春江中学校訪問
41	7月4日	川元、牧田、宮﨑、若松	英国招へい団　坂井市出発（見送り）
42	7月7日	川元	ロータリーカップ学童軟式野球大会
43		川元	丸岡町ジュニア陸上競技記録会
44	7月8日	川元	海からのおくりもの～おしまの海であそぼう～
45		川元、田中、牧田、宮﨑、若松	バレーボール競技強化応援プロジェクト

２　教育長、教育委員の活動状況

	月　　日	委　　員　　名	活　動　内　容
46	7月10日	川元	第1回市民文化祭実行委員会
47	7月12日	川元、牧田、宮﨑、若松	全国北前船研究交流セミナー
48	7月14日	川元、田中	城のまちまちづくり協議会特別講演会
49	7月15日	川元	いそべ夏まつり
50		川元、若松	国体・障スポ融合イベント
51	7月18日	川元	坂井市立図書館協議会
52	7月19日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	総合教育会議
53		川元	福井県都市教育長協議会
54	7月21日	川元	日本少年野球福井大会
55	7月23日	川元	坂井地区小学校教育課程研究集会
56	7月28日	川元	はるえイッチョライでんすけ祭り
57	7月30日	川元、牧田、宮﨑、若松	坂井市教育研究会全体研修会
58	7月31日	川元	坂井・延岡ジュニア交流事業　市長表敬訪問
59	8月2日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	採択坂井地区協議会
60	8月4日	川元	三国町小学生野球大会
61		川元	三国町小学生女子親善バレーボール大会
62	8月5日	川元	さかい夏祭り
63	8月10日	川元	福井県中学校教育研究集会
64	8月18日	川元、宮﨑	高校生現代アートビエンナーレ表彰式
65		田中、若松	くちなし忌
66	8月19日	川元	坂井ブロックゲートボール選手権大会
67	8月23日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	東海北陸六県市町村教育委員会連合会、福井県市町教育委員会連絡協議会合同研修会
68	8月25日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	福井しあわせ元気国体 総決起集会
69	8月26日	川元、宮﨑、若松	国体デモスポ バトン競技
70		川元、田中、宮﨑、若松	国体デモスポ ドッチビー競技
71	8月28日	川元	かまぼこ板コラボ展オープニングセレモニー
72	9月1日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	第38回福井県市町文協選抜美術展　～9/3
73		川元、宮﨑、若松	三国湊帯のまち流し
74	9月2日	川元、牧田、宮﨑、若松	国体デモスポ バウンドテニス競技
75		川元、田中、牧田、宮﨑、若松	国体デモスポ　エアロビック競技
76	9月6日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	市内中学校体育祭
77	9月8日	川元、田中、牧田、宮﨑	小学校運動会（雄島、三国北、加戸、磯部小） 雨のため１１日に順延
78	9月10日	川元	坂井市子ども会育成連絡協議会壁新聞コンクール審査
79	9月15日	川元、宮﨑、若松	小学校運動会(三国南、三国西小)
80		若松	長畝日向神楽奉納
81		川元、若松	表児の米
82	9月16日	川元	国体デモスポ ディスクゴルフ競技
83	9月17日	川元、宮﨑	たかどのほうこ講演会
84	9月19日	川元	坂井地区中学校駅伝
85	9月22日	川元、田中、牧田、宮﨑	こどもが描く“ふるさと坂井”絵画展表彰式

２　教育長、教育委員の活動状況

	月　　日	委　　員　　名	活　動　内　容
86	9月29日	田中、牧田、宮﨑、若松	福井しあわせ元気国体総合開会式
87	10月3日	田中、宮﨑	福井しあわせ元気国体　サッカー競技
88	10月5日	田中、宮﨑	福井しあわせ元気国体　バレーボール競技
89	10月9日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	福井しあわせ元気国体　総合閉会式
90	10月13日	川元、田中、宮﨑、若松	福井しあわせ元気大会　開会式
91	10月14日	宮﨑	福井しあわせ元気大会　フライングディスク競技
92	10月15日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	福井しあわせ元気大会　閉会式
93	10月20日	川元、田中、牧田、宮﨑	三国西小学校５０周年記念式典
94	10月23日	川元、田中、牧田、宮﨑	坂井・あわら市合同小学校陸上記録会
95		川元	福井県市町教育委員会連絡協議会教育長研修会
96	10月27日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	坂井市民文化祭総合開会式
97		若松	坂井市民文化祭（丸岡会場文化祭～10/28）
98	10月28日	川元	木部ふるさとまつり
99	10月30日	川元	福井県社会科教育研究大会（坂井大会）
100	11月3日	川元、宮﨑、若松	坂井市民文化祭（三国・春江・坂井会場）～11/4
101		川元	古城旗争奪剣道大会
102	11月7日	川元、牧田、宮﨑、若松	教育委員会制度７０周年記念式典
103	11月9日	川元	教育長等教育行政幹部職員セミナー　～11/10
104	11月10日	川元、牧田、宮﨑、若松	まるおか子供歌舞伎
105	11月11日	川元	全国小中学生競技かるた選手権福井大会
106		川元	坂井地区中学校生徒美術作品展
107	11月13日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	英国派遣団結団式
108	11月15日	宮﨑、若松	福井県市町女性教育委員の会　第２回研修会
109	11月16日	川元	一筆啓上標語コンクール表彰式
110	11月22日	川元	福井県中学校理科研究大会（坂井大会）
111	11月23日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	坂井市ＰＴＡ連合会市長・教育長と語る会
112	11月28日	川元	坂井市子育て講演会
113	11月29日	川元、田中、宮﨑、若松	オーケストラと子どもたちのふれあいコンサート
114	11月30日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	第２回坂井地区合同教育委員会
115	12月1日	川元、田中、牧田、宮﨑	坂井市青少年健全育成推進大会
116	12月2日	川元、宮﨑	日本女子フットサルリーグ
117	12月9日	川元	坂井市女性の会会員のつどい
118	12月18日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	教育委員県外研修　～12/19
119	12月22日	川元、宮﨑	子どもミュージカル
120	12月23日	田中	子どもミュージカル
121	平成31年1月7日	川元	第３回坂井地区教育振興研究会代表者会
122	1月13日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	坂井市成人式
123	1月20日	川元	坂井市小学生親善かるた大会
124	1月21日	川元	福井県文化協会創立７０周年記念祝賀会
125	1月23日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	ふるさとづくり大会、生涯学習講演会
126	1月25日	川元、田中、宮﨑、若松	一筆啓上入賞者発表会

２　教育長、教育委員の活動状況

	月　　日	委　　員　　名	活　動　内　容
127	2月3日	川元	三国町親善卓球大会
128		宮﨑、若松	坂井市文化協会　文化講演会
129	2月8日	川元	市民文化祭実行委員会
130	2月9日	川元	ざぶん賞福井県表彰式
131	2月10日	川元	坂井市民競技かるた大会
132		川元	坂井地区キャリア教育推進フォーラム
133	2月16日	川元	坂井市成人大学閉講式
134	2月17日	川元	バウンドテニス交流大会
135		川元	木部ふれあいゲートボール大会
136	2月23日	川元	浜四郷のつどい
137	2月28日	川元、田中、牧田、若松	国体実行委員会第５回総会
138	3月1日	若松	坂井高等学校卒業証書授与式
139		宮﨑	三国高等学校卒業証書授与式
140		牧田	丸岡高等学校卒業証書授与式
141		田中	丸岡高等学校定時制卒業証書授与式
142	3月2日	川元、田中、宮﨑	梨一賞表彰式
143	3月3日	川元	木部春のふれあいまつり
144		川元、宮﨑、若松	東十郷ふれあいまつり
145	3月9日	川元	新入学を祝う良い子のつどい
146	3月10日	川元	大関コミセンやよい祭
147		宮﨑	みくに龍翔館郷土史研究講座
148	3月12日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	各中学校卒業証書授与式
149	3月13日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	英国派遣事業（3/13～3/22）壮行式
150	3月14日、15日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	各小学校卒業証書授与式
151	3月16日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	坂井市教育委員会表彰
152	3月22日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	英国派遣事業　帰国報告
153	3月23日	川元、宮﨑	三国コミュニティセンター竣工式
154		川元	新保コミュニティセンター竣工式
155	3月28日	川元	英国派遣団帰国市長報告
156	3月29日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	教職員離任式
157	3月30日	川元、牧田	春江東コミュニティセンター竣工式
158	3月31日	川元	兵庫コミュニティセンター竣工式
159		川元	三国東部コミュニティセンター竣工式

※教育委員会会議は、前項に開催状況の記載があるため本表からは除いてあります。

※指導主事訪問および全国大会出場激励会は、別途一覧表（次頁以降参照）があるため本表からは除いてあります。

２－１ 指導主事学校訪問

	時　　期		出席委員名	活　動　内　容
1		平成30年5月23日	川元、田中、宮﨑	指導主事学校訪問（三国西小）
2		5月29日	川元、田中、牧田、若松	指導主事学校訪問（坂井中）
3		6月1日	川元、田中、宮﨑	指導主事学校訪問（高椋小）
4		6月5日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（丸岡中）
5		6月6日	川元、田中、宮﨑	指導主事学校訪問（磯部小）
6		6月8日	川元、田中、牧田、宮﨑	指導主事学校訪問（加戸小）
7		6月12日	田中、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（丸岡南中）
8	前期	6月14日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（春江中）
9		6月15日	川元、牧田、宮﨑	指導主事学校訪問（春江小）
10		6月19日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（三国中）
11		6月20日	川元、田中、宮﨑	指導主事学校訪問（明章小）
12		6月21日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（東十郷小）
13		6月26日	牧田、宮﨑	指導主事学校訪問（木部小）
14		6月28日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（兵庫小）
15		6月29日	川元、田中、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（長畝小）
16		9月28日	川元、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（三国中２回目）
17		10月9日	川元、田中、若松	指導主事学校訪問（磯部小２回目）
18		10月10日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（大石小）
19		10月11日	川元、牧田、若松	指導主事学校訪問（高椋小２回目）
20		10月12日	川元、田中、牧田、宮﨑	指導主事学校訪問（雄島小）
21		10月17日	川元、田中、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（坂井中２回目）
22		10月18日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（鳴鹿小）
23		10月19日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（春江西小）
24	後期	11月1日	川元、田中、若松	指導主事学校訪問（丸岡中２回目）
25		11月2日	川元、田中、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（平章小）
26		11月6日	川元、田中、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（大関小）
27		11月8日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（三国北小）
28		11月9日	川元、田中、牧田、若松	指導主事学校訪問（春江小２回目）
29		11月14日	川元、田中、牧田、宮﨑	指導主事学校訪問（春江東小）
30		11月15日	川元、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（春江中２回目）
31		11月16日	川元、田中、牧田	指導主事学校訪問（丸岡南中２回目）
32		11月28日	川元、田中、牧田、宮﨑、若松	指導主事学校訪問（三国南小）

２－２ 全国大会等出場激励会

	開催日	内　　容	所管課
1	平成30年7月4日	全国大会出場激励会（小学生ソフトテニス、小学生バドミントン）	生涯学習スポーツ課
2	7月10日	全国大会出場激励会（小学生卓球、小学生ソフトテニス）	生涯学習スポーツ課
3	7月18日	インターハイ激励会	生涯学習スポーツ課
4	7月18日	全国大会出場激励会（高等学校総合文化祭、高校放送コンテスト）	文化課
5	7月24日	全国高等学校定時制通信制体育大会出場激励会	生涯学習スポーツ課
6	7月26日	全国大会出場激励会（バレーボール、中学生空手道、中学生野球、中学生軟式野球、カヌーポロ世界大会）	生涯学習スポーツ課
7	7月26日	全国大会出場激励会（小学生囲碁、中学生かるた選手権）	文化課
8	8月9日	全国大会出場激励会（小学生柔道、中学生ハンドボール、小学生テニス、小学生サッカー、ソフトテニス）	生涯学習スポーツ課
9	8月10日	全国大会出場激励会（小学生陸上）	生涯学習スポーツ課
10	8月13日	全国中学校体育大会（陸上、柔道、卓球）、ＮＨＫ杯全国中学校放送コンテスト出場激励会	学校教育課
11	8月27日	全国大会出場激励会（全国高等専門学校体育大会、小学生卓球、中学生バレーボール、ジャパンパラ水泳）	生涯学習スポーツ課
12	9月7日	第73国民体育大会（会期前）	生涯学習スポーツ課
13	9月14日	第73回国民体育大会出場激励会	生涯学習スポーツ課
14	9月20日	全国大会出場激励会（高校生サッカー）	生涯学習スポーツ課
15	9月27日	全国大会出場激励会（東日本吹奏楽大会高等学校部門）	文化課
16	10月16日	全国大会出場激励会（高校ロボット競技大会、国民文化祭競技かるた）	文化課
17	10月22日	全国大会出場激励会（少林寺拳法、中学生新体操）	生涯学習スポーツ課
18	10月29日	全国大会出場激励会（サッカー、高校生チアダンス、バレーボール）	生涯学習スポーツ課
19	11月5日	全国大会出場激励会（スポーツ吹き矢）	生涯学習スポーツ課
20	12月3日	全国大会出場激励会（中学生バレーボール、小学生バトントワーリング、高校生駅伝）	生涯学習スポーツ課
21	12月3日	全国大会出場激励会（高校マーチングバンド）	文化課
22	12月20日	全国大会出場激励会（フットサル）	生涯学習スポーツ課
23	12月21日	第97回全国高等学校サッカー選手権大会激励会	生涯学習スポーツ課
24	12月25日	全国大会出場激励会（中学生剣道）	生涯学習スポーツ課
25	平成31年2月26日	全国大会出場激励会（女子フットサル）	生涯学習スポーツ課
26	3月8日	全国大会出場激励会（中学生ソフトボール、中学生バスケットボール、小学生テニス、高校生ソフトボール）	生涯学習スポーツ課
27	3月8日	全国大会出場激励会（日本太鼓ジュニアコンクール、高校生かるた）	文化課
28	3月13日	全国大会出場激励会（高校生バレーボール、小学生水泳、小学生・中学生バトントワーリング、小学生ハンドボール）	生涯学習スポーツ課
29	3月15日	全国大会出場激励会（小学生チアリーディング、中学生ソフトテニス、高校生ウエイトリフティング、高校生自転車、小学生ソフトテニス）	生涯学習スポーツ課
30	3月22日	全国大会出場激励会（小中学生競技かるた）	文化課

※教育長が出席

３　委員会、審議会等の審議状況

名　　称	委員数	会　議 開催数	件　　名	種別	年月日
坂井市教育支援委員会	37(29)	6	・教育支援委員会 園児児童生徒の就学先個別判断・決定について ・教育支援委員専門委員会 園児児童生徒の就学相談について	協議	H30.4.11 H30.5.31 H30.7.4 H30.8.1 H30.11.21 H31.1.16
坂井市社会教育委員の会	15(5)	4	・平成30年度社会教育関係事業の概要について ・合宿通学事業 ・コミュニティセンター「リレー講座」について ・国際交流事業について	協議	H30.6.4 H30.8.30 H30.12.4 H31.3.28
坂井市スポーツ推進委員会	40(12)	16	・平成30年度事業計画について ・スポーツ推進委員会及び各部会の運営について ・北陸地区スポーツ推進委員研修会について ・ウォークラリー大会について ・スポレッシュ教室について ・マリン体操普及推進について ・ケーブルテレビによるスポーツ推進委員活動紹介について ・平成30年度事業活動について ・平成31年度事業計画について	協議	H30.4.4 H30.4.11 H30.4.19 H30.5.15 H30.5.16 H30.5.31 H30.6.18 H30.6.28 H30.8.23 H30.9.18 H30.11.19 H31.1.22 H31.1.28 H31.2.7 H31.2.21 H31.3.18
坂井市青少年愛護センター運営委員会	20(5)	2	・愛護センターの事業報告 ・愛護センターの事業計画 ・青少年の動向 ・補導活動、相談業務	協議	H30.6.27 H31.3.6
福井しあわせ元気国体 坂井市実行委員会 総会	140(10)	1	・平成29年度事業報告について ・平成29年度収支決算について ・平成30年度事業計画(案)について ・平成30年度収支予算(案)について	協議	H30.6.13
福井しあわせ元気国体 坂井市実行委員会 常任委員会	41(1)	1	・福井しあわせ元気国体坂井市実行委員会役員及び委員等の変更について ・会長専決処分について ・福井しあわせ元気国体競技別プレ大会の結果報告について ・総務企画専門委員会における審議結果について ・競技式典専門委員会における審議結果について ・宿泊衛生専門委員会における審議結果について ・輸送交通専門委員会における審議結果について	協議	H30.6.13
福井しあわせ元気国体 坂井市実行委員会 輸送交通専門委員会	18(0)	1	・福井しあわせ元気国体坂井市実行委員会第2回輸送交通専門委員会開催後の経過概要について ・福井しあわせ元気国体競技別プレ大会の結果報告について ・福井しあわせ元気国体坂井市輸送計画(案)について	協議	H30.5.16

３　委員会、審議会等の審議状況

名　　称	委員数	会　議 開催数	件　　名	種別	年月日
福井しあわせ元気国体 坂井市実行委員会 競技式典専門委員会	18(0)	1	・福井しあわせ元気国体坂井市実行委員会第2回競技式典専門委員会開催後の経過概要について ・福井しあわせ元気国体競技別プレ大会の結果報告について ・福井しあわせ元気国体坂井市競技会場管理運営要綱(案) ・福井しあわせ元気国体坂井市式典実施要項(案)	協議	H30.5.17
福井しあわせ元気国体 坂井市実行委員会 総務企画専門委員会	26(2)	1	・福井しあわせ元気国体坂井市実行委員会第2回総務企画専門委員会開催後の経過概要について ・福井しあわせ元気国体競技別プレ大会の結果報告について ・福井しあわせ元気国体坂井市炬火イベント実施要項(案) ・福井しあわせ元気国体坂井市学校応援観戦実施要項(案) ・福井しあわせ元気国体坂井市大会報告書作成方針(案)	協議	H30.5.18
坂井市文化財保護審議会	9(0)	2	・平成30年度事業計画について ・文化財看板の改修について ・文化財の新規指定について ・現地視察(丸岡城跡発掘調査現場) ・平成30年度事業報告	会議 視察 会議	H30.6.6 H30.11.22 H31.3.19
坂井市文化未来会議	12(4)	3	・今年度の会議の方向性について ・歴史文化基本構想取り組みの実施内容について ・今年度の視察研修について ・先進地視察研修(京都府・住友グループ関連施設) ・文化教育普及活動実績および来年度の方向性について	会議 会議 視察 会議	H30.6.5 H30.11.2 H30.11.27 H31.2.26
坂井市一筆啓上日本一 短い手紙の館運営審議会	6(1)	2	・平成30年度事業計画について ・視察研修(京都府・住友グループ関連施設) ・平成30年度事業報告	会議 視察 会議	H30.7.3 H30.11.27 H31.3.12
六呂瀬山古墳群調査 整備委員会	3(0)	1	・委員委嘱及び会長、副会長の選任 ・六呂瀬山古墳群整備事業の説明および今後の進め方について	会議	H30.9.19
丸岡城調査研究委員会	10(1)	4	・平成29年度調査成果の報告 ・平成30年度事業計画について ・『丸岡城天守学術調査報告書』の刊行について ・調査成果の検証 ・丸岡城天守耐震診断事業の実施について ・丸岡城天守の構造調査でわかったこと ・平成31年度の事業計画について ・『丸岡城天守学術調査報告書』の校正について ・今後のスケジュールについて	会議 会議 会議 会議	H30.6.8 H30.8.31 H30.9.20 H31.2.13
みくに龍翔館リニューアル 検討委員会	9(1)	4	・リニューアル後の常設展示の検討について ・リニューアル後の管理運営計画について ・リニューアル基本計画検討報告書(案)について ・リニューアル事業スケジュールについて	会議 会議 会議 会議	H30.6.18 H30.9.26 H31.1.31 H31.3.8
坂井市図書館協議会	11(8)	2	・図書館の概要について ・平成29年度事業報告について ・平成29年度決算報告について ・平成30年度事業計画について ・平成30年度坂井市立図書館利用状況、各館の行事報告 ・平成31年度主要事業および予算の概要について	協議	H30.7.18 H31.2.28

※委員数のうち(　)内は女性の委員数

４　教育委員会関係の許認可の状況

（１）文化財の指定状況

＜指定文化財の現状＞　　平成３１年３月３１日現在

区　　分	国			県指定	市指定	計
	指定	選定・選択	登録			
国　　宝	1					1
重要文化財	9					9
有形文化財				19 (+1)	36	55 (+1)
無形文化財						0
重要有形民俗文化財						0
有形民俗文化財					1	1
重要無形民俗文化財						0
無形民俗文化財				6	6	12
特別史跡						0
史　　跡	2			3	12	17
特別名勝						0
名　　勝	1					1
特別天然記念物						0
天然記念物	1			3	6	10
特別名勝天然記念物						0
名勝天然記念物	1					1
重要伝統的建造物群 保存地区						0
選定保存技術						0
登録有形文化財			10		3	13
登録記念物			1		3	4
合　　計	15	0	11	31 (+1)	67	124 (+1)

※（　）内は年度内増減数

平成30年度追加（1件）

〇有形文化財（県指定　工芸品　1件）

①刺繍種子胎蔵界中台八葉院曼荼羅（平成31年3月22日指定）
（ししゅうしゅしたいぞうかいちゅうだいはちよういんまんだら）

Ⅳ 教育委員会関係事業の取組実績

平成３０年度事業別施策の成果報告書

坂井市教育委員会

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	01	教育委員会費
大事業	001	教育委員会運営事業						決算書 P. 191	
中事業	01	教育委員会運営事業						所管部局	教育委員会事務局 教育総務課

予算額	当初	決算額	不用額
	3,091 千円	3,040 千円	51 千円
前年度	2,940 千円	2,699 千円	241 千円

主な特定財源			
			千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

生涯学習、教育、文化、スポーツの振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進するため、教育委員会および総合教育会議を開催する。また、学校教育、社会教育・体育および芸術分野で優秀な成績を収め、活躍した人などを表彰し、一層の振興を図る。

【事業の概要】

◆教育委員会運営事業 2,818 千円

○報酬（旧制度…教育委員長1名、教育委員3名、4/1～5/10）		2,414 千円
（新制度…教育委員4名、5/11～）		
○報償費		6 千円
○旅費（費用弁償、特別旅費）		243 千円
○需用費（印刷製本費他）		69 千円
○使用料（有料道路通行料）		4 千円
○負担金		82 千円
県市町女性教育委員の会負担金	10 千円	
県市町教育委員会連絡協議会負担金	52 千円	
県市町教育委員会連絡協議会総会負担金	20 千円	

教育委員会の開催数	１５回
（うち、本庁舎以外での開催数）	（１回）

◆教育委員会表彰事業 222 千円

○報償費（記念品等）	196 千円
○需用費（消耗品費）	10 千円
○委託料（写真撮影業務委託料）	16 千円

市教育委員会表彰内訳	
功労賞	２４名
功績賞	５０名・１団体
奨励賞	１９名・７団体

【事業の成果と改善点等】

月１回の定例会および臨時会合わせて教育委員会を１３回、また、総合教育会議を２回開催し、教育行政について協議を行った。

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	02	事務局費
大事業	051	教育委員会事務局事業						決算書 P. 193	
中事業	01	教育委員会事務局事業						所管部局	教育委員会事務局 教育総務課

予算額	当初 補4号	決算額	不用額
	9,299 千円	8,128 千円	1,171 千円
前年度	9,823 千円	8,368 千円	1,455 千円

主な特定財源			
	寄附金	指定寄附金	1,500 千円
	諸収入	奨学育英資金貸付金収入	2,321 千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

教育行政を一体的に推進するため、教育委員会事務局全体の運営調整を図る。

【事業の概要】

◆教育委員会事務局事業 8,128 千円

○旅費（教育長・職員出張旅費）		154 千円
○交際費（教育長交際費）		325 千円
○需用費（消耗品費、書籍他）		174 千円
○委託料		833 千円
ストレスチェック委託料	108 千円	
中高連絡協議会事業委託料	725 千円	
○使用料及び賃借料（車両借上料）		206 千円
○負担金、補助及び交付金		6,236 千円
負担金（坂井地区教育振興会負担金他）	3,601 千円	
補助金（小中学校教育振興費奨励金他）	2,635 千円	
○貸付金（奨学育英資金貸付者　1人）		200 千円

【事業の成果と改善点等】

教育行政全般にわたり運営調整を図るとともに、教育振興会等への支援を行い教育振興に取り組んだ。また、ストレスチェックを実施し、職員のメンタルヘルスの維持向上を図った。

予　算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理費
大事業	051	小学校管理事業						決　算　書 P.　195	
中事業	01	小学校管理事業					所管部局	教育委員会事務局	教育総務課

予算額	当初　補3号　補4号	決　算　額	不　用　額
	319,266 千円	301,864 千円	17,402 千円
前年度	291,440 千円	286,487 千円	4,953 千円

主な特定財源			
県支出金	遠隔授業・研修システム整備事業補助金		427 千円
寄附金	指定寄附金		50 千円
繰入金	まちづくり整備基金繰入金		16,000 千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【上記決算額内訳】

当該年度分	予　算　額	319,266 千円	決　算　額	301,864 千円
翌年度への繰越額		5,906 千円		

【事業の目的】

市内の小学生が充実した学校教育を受けることができる教育環境を整えるため、市内19小学校施設の適正な維持管理を行う。

また、市内小学校に設置されているブロック塀のうち、現行の建築基準法の基準に適合しないものについて改修を行う。

【事業の概要】

◆小学校管理事業　本庁　203,848 千円

- ○賃金（臨時職員用務員）　17,352 千円
- ○旅費（用務員）　276 千円
- ○需用費（プール用消毒剤、修繕料他）　19,400 千円
- ○役務費（火災保険料他）　12,342 千円
- ○委託料（各種保守点検委託料他）　34,082 千円
- ○使用料及び賃借料（土地借上料、教育用コンピュータ他）　87,914 千円
- ○工事請負費（校舎屋上防水、体育館外壁、ブロック塀改修他）　27,679 千円
- ○原材料費（机天板、椅子座面、グラウンド安定剤他）　1,555 千円
- ○備品購入費　3,248 千円
  （遠隔授業・研修システムPC一式、牛乳保冷庫、乾熱滅菌器他）

◆小学校管理事業　各小学校　96,842 千円

市内19小学校にて対応する維持管理費

- ○需用費（消耗品費、光熱水費他）　87,559 千円
- ○役務費（通信運搬費他）　5,028 千円
- ○委託料（各種保守点検料）　2,106 千円
- ○使用料及び賃借料（複写機リース料他）　2,149 千円

【次頁へ】…

予　算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理費
大事業	051	小学校管理事業						決　算　書 P.　195	
中事業	01	小学校管理事業					所管部局	教育委員会事務局	教育総務課

…【前頁より】

◆省エネ対策事業　1,174 千円

- ○使用料及び賃借料（デマンド監視システム使用料）　1,174 千円

（ 翌年度繰越 ）

◆小学校管理事業　本庁　5,906 千円

- ○工事請負費　5,906 千円
  - ・ブロック塀改修工事
    ＜対象6校のうち4校分（三国南・雄島・加戸・長畝小）＞
    （ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金事業）

【事業の成果と改善点等】

市内19小学校の適正な維持管理を行い、教育環境の改善に取り組んだ。ＩＣＴ環境整備については、7校の遠隔授業・研修システムについて整備を行った。なお、ブロック塀改修工事については、国の交付金事業として6校のうち2校（三国西・木部小）を実施した。残る4校（三国南・雄島・加戸・長畝小）は予算の一部を繰り越して実施する。

予　算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理費
大事業	101	小学校施設整備事業						決　算　書 P.　197	
中事業	01	小学校施設整備事業					所管部局	教育委員会事務局	教育総務課

予算額	当初　補2号　補6号	決　算　額	不　用　額
	456,902 千円	402,955 千円	53,947 千円
前年度	792,556 千円	320,500 千円	472,056 千円

主な特定財源		
国庫支出金	施設整備費補助金	44,528 千円
市債	小学校施設整備事業債	11,300 千円
市債	合併特例事業債	323,700 千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【上記決算額内訳】

当該年度分	予　算　額	54,800 千円	決　算　額	11,994 千円
前年度繰越分	繰越分予算額	402,102 千円	繰越分決算額	390,961 千円
翌年度への繰越額		42,800 千円		

【事業の目的】

児童の安全安心を確保し、災害に備えるために、建築後40年が経過し、かつ、以前の改修から20年を経過する学校等について計画的に施設の大規模改造工事を行う。

また、市内小学校の特別教室のうち利用頻度が高い教室について、熱中症対策のための空調設備を設置する。

【事業の概要】

○委託料　20,380 千円

- 春江西小学校校舎大規模改造工事＜Ⅱ期＞監理委託料　3,480 千円
  （(株)大澤設計事務所）
- 大石小学校校舎大規模改造工事＜Ⅱ期＞監理委託料　4,906 千円
  （(株)木下設計）
- 小学校特別教室空調動力設備設計業務委託料　194 千円
  （フジ建築設備設計事務所）
- 三国北小学校校舎大規模改造工事実施設計業務委託料　11,800 千円
  （(株)走坂建築設計事務所）

○工事請負費＜Ⅱ期工事＞　382,575 千円

- 春江西小学校校舎大規模改造工事　149,911 千円
- 大石小学校校舎大規模改造工事（仮設校舎分含む）　232,664 千円

【次頁へ】…

予　算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	01	学校管理費
大事業	101	小学校施設整備事業						決　算　書 P.　197	
中事業	01	小学校施設整備事業					所管部局	教育委員会事務局	教育総務課

…【前頁より】

（ 翌年度繰越 ）

○工事請負費　42,800 千円

- 特別教室空調設備設置工事　42,800 千円
  ＜図書室・音楽室＞
  （ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金事業）

【事業の成果と改善点等】

2校の校舎大規模改造工事（Ⅱ期）を実施し、教育環境の整備・改善を行った。また、1校の校舎大規模改造工事に向けて実施設計業務委託を行った。なお、空調設備設置工事については、国の交付金事業として予算を翌年度に繰り越して実施する。

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	01	学校管理費
大事業	051	中学校管理事業						決算書 P. 199	
中事業	01	中学校管理事業					所管部局	教育委員会事務局	教育総務課

予算額	当初 補3号 補4号	決算額	不用額
	106,042 千円	101,995 千円	4,047 千円
前年度	105,719 千円	101,304 千円	4,415 千円

主な特定財源			
県支出金	遠隔授業・研修システム整備事業補助金		305 千円
寄附金	指定寄附金		100 千円
繰入金	まちづくり整備基金繰入金		5,000 千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】
市内の中学生が充実した学校教育を受けることができる教育環境を整えるため、市内5中学校施設の適正な維持管理を行う。

【事業の概要】
◆中学校管理事業　本庁　52,960 千円
- ○旅費（用務員）　13 千円
- ○需用費（修繕料他）　3,169 千円
- ○役務費（火災保険料他）　4,294 千円
- ○委託料（各種保守点検委託料他）　18,036 千円
- ○使用料及び賃借料（土地借上料、教育用コンピュータ他）　22,929 千円
- ○原材料費（机天板、椅子座面、グラウンド安定剤）　892 千円
- ○備品購入費　3,627 千円
  （遠隔授業・研修システムPC一式、ネットワーク機器、机・椅子他）

◆中学校管理事業　各中学校　48,726 千円
市内５中学校にて対応する維持管理費
- ○需用費（消耗品費、光熱水費他）　44,568 千円
- ○役務費（通信運搬費他）　2,298 千円
- ○委託料（各種保守点検料）　1,044 千円
- ○使用料及び賃借料（複写機リース料他）　816 千円

◆省エネ対策事業　309 千円
- ○使用料及び賃借料（デマンド監視システム使用料）　309 千円

【事業の成果と改善点等】
市内5中学校の適正な維持管理に努めた。ＩＣＴ環境整備については、全校の遠隔授業・研修システムについて整備を行った。また、省エネ対策については、教室等の適正な環境基準の中で、デマンドについて監視システムを活用し適正な運用に努めた。

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	01	学校管理費
大事業	101	中学校施設整備事業						決算書 P. 201	
中事業	01	中学校施設整備事業					所管部局	教育委員会事務局	教育総務課

予算額	補2号 補6号	決算額	不用額
	72,097 千円	497 千円	71,600 千円
前年度	0 千円	0 千円	0 千円

主な特定財源			
			千円
			千円
			千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【上記決算額内訳】

当該年度分	予算額	72,097 千円	決算額	497 千円
翌年度への繰越額		71,600 千円		

【事業の目的】
市内中学校の特別教室のうち利用頻度が高い教室について、熱中症対策のための空調設備を設置する。

【事業の概要】
- ○委託料　497 千円
  - ・特別教室空調設備設置工事設計委託料　497 千円
    （フジ建築設備設計事務所）

（ 翌年度繰越 ）
- ○工事請負費　71,600 千円
  - ・特別教室空調設備設置工事　71,600 千円
    ＜音楽室・理科室＞
    （ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金事業）

【事業の成果と改善点等】
市内全中学校の特別教室への空調設備設置工事に向け、キュービクルの容量変更に伴う実施設計業務委託を行った。なお、空調設備設置工事については、国の交付金事業として予算を翌年度に繰り越して実施する。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	07	社会教育施設費
大事業	001	キンダーホール管理運営事業						決算書 P. 209	
中事業	01	キンダーホール管理運営事業					所管部局	教育委員会事務局	教育総務課

予算額	当初	決算額	不用額
	1,312 千円	1,305 千円	7 千円
前年度	1,383 千円	1,235 千円	148 千円

主な特定財源		
		千円
		千円
		千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

放課後の児童・生徒の居場所として当該施設を開放し、地域住民の集会等の開催場所として貸すことなどを通じて、青少年の健全育成や地域コミュニティの活性化を図る。

【事業の概要】

○賃金（臨時職員）	990 千円
○需用費（燃料費、光熱水費他）	274 千円
○役務費（電話料、火災保険料）	41 千円

【開館時間】　月・火・水・木・金　（午後3時～6時）
（土曜日・日曜日・祝日・祭日・年末年始は休館）

【児童・生徒の利用状況】　単位：人

	年間利用者数	1日平均利用者数
平成３０年度	2,179	8.3
平成２９年度	2,314	9.0
平成２８年度	2,043	8.1
平成２７年度	2,460	10.0
平成２６年度	1,942	7.9

【事業の成果と改善点等】

放課後の児童等の利用や地域住民の集会所として利用された。一方、28年度の調査において耐震性が低く改修には多額の費用がかかることが判明しており、施設の利用廃止および解体・撤去に向けて地元地区と協議を続けてきた。その結果、地元地区の理解が得られたため、年度末をもって公の施設としての利用を終了し、条例・規則を廃止した。

予算	款	13	諸支出金	項	02	基金費	目	14	教育振興整備基金費
大事業	001	教育振興整備基金						決算書 P. 229	
中事業	01	教育振興整備基金					所管部局	教育委員会事務局	教育総務課

予算額	当初	決算額	不用額
	8 千円	4 千円	4 千円
前年度	12 千円	7 千円	5 千円

主な特定財源		
財産収入	教育振興整備基金利子	4 千円
		千円
		千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

坂井市の将来を担う子どもたちを、健全に育成することを目的とした教育の振興及び教育施設の環境整備に必要な財源に充てるため、教育振興整備基金を設置している。

【事業の概要】

○積立金
　教育振興整備基金利子　4 千円

平成29年度末現在高 ①	平成30年度中増減額		平成30年度末現在高①-②+③
	取崩額 ②	積立額 ③	
36,338 千円	0 千円	4 千円	36,342 千円

【事業の成果と改善点等】

利子分を積み立て、適切に基金管理を行った。

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	01	教育委員会費
大事業	051	教育相談事業						決算書 P. 191	
中事業	01	教育相談事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初 補2号	決算額	不用額
	16,214 千円	16,122 千円	92 千円
前年度	13,771 千円	13,624 千円	147 千円

主な特定財源			
	県支出金	スクールソーシャルワーカー活用事業委託金	1,974 千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

市内小中学校の児童生徒の不登校対策として、早期の学級復帰への支援、併せて保護者に対して子どもの理解や対応に関する指導等、教育相談業務の充実を図る。

【事業の概要】

◆教育相談事業 12,506 千円

○賃金	指導員5名	9,302 千円
○報償費	委員手当他	411 千円
○旅費		136 千円
○需用費	消耗品費、光熱水費、修繕料他	2,303 千円
○役務費	電話料、火災保険料、傷害保険料	136 千円
○委託料	各種保守点検料他	97 千円
○使用料及び賃借料	インターネット使用料、車両借上料他	86 千円
○備品購入費		30 千円
○負担金	全国適応指導教室連絡協議会会費	5 千円

◆スクールソーシャルワーカー活用事業 3,616 千円

○賃金	2名	3,554 千円
○旅費		62 千円

【事業の成果と改善点等】

不登校の児童生徒に対し、適応指導教室の指導員やスクールソーシャルワーカーの連携により、早期の学級復帰及び社会的自立に向け、保護者を含めた支援・指導を行った。

また、学校と適応教室間で、本人の状況・特性等の情報を共有することにより、学校において不登校者の受入れ方や関わり方に役立たせることができた。

【事業の実績等】

		通室者数	復帰者数	復帰率
適応指導教室通室者復帰率	H30	22人	19人	86.3%
	H29	10人	7人	70.0%

		小学生	中学生
不登校児童生徒数	H30	21人	61人
	H29	16人	60人

*不登校による欠席日数が30日以上の人数

予算	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	01	教育委員会費
大事業	101	学級運営支援事業						決算書 P. 193	
中事業	01	学級運営支援事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初	決算額	不用額
	88,497 千円	79,718 千円	8,779 千円
前年度	82,925 千円	78,159 千円	4,766 千円

主な特定財源			
	県支出金	学校運営支援員派遣事業補助金	2,245 千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

市内の小中学校における学級運営の円滑化のため、学習面、生活面で特別な支援を必要とする児童生徒の支援を行う学級サポーターを配置するなど、教育環境の充実を図る。

【事業の概要】

◆学級運営支援事業 76,184 千円

○賃金	学級サポーター	75,964 千円
○報償費	講師謝礼	61 千円
○委託料	旅行業務委託料	74 千円
○使用料及び賃借料	車両借上料他	85 千円

◆学校運営支援事業 3,534 千円

【負担割合】 国 1/3 県 1/3

○賃金	学校運営支援員	3,534 千円

【事業の成果と改善点等】

発達障がい等により、学習面や生活面で特別に支援を必要とする児童生徒のために、学級サポーターを配置し、対象となる児童生徒の学習支援と学級運営の円滑化を図った。夏季休暇中に研修会を実施して、気がかりな児童生徒の支援のために必要な知識を習得することによるスキル向上を図った。

また、コピーや印刷等、教員の事務負担軽減のために、学校運営支援員を配置して教員の多忙化解消を図った。

【事業の実績等】

	H30実績	H29実績
学級サポーター数	59人	58人
中学校生徒相談員数（相談室）	6人	7人

予　算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業						決　算　書 P.　197	
中事業	01	小学校教育振興事業					所管部局	教育委員会事務局	学校教育課

予算額	当初　補2号　流用	決　算　額	不　用　額
	59,798 千円	56,209 千円	3,589 千円
前年度	46,425 千円	43,027 千円	3,398 千円

主な特定財源	県支出金	地域と進める体験推進事業補助金	1,900 千円
	県支出金	ふくいの地場産学校給食事業補助金	500 千円
	県支出金	環境・エネルギー教育支援事業補助金	2,117 千円

予算流用(増減)額	△ 116 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

児童に生きる力を教え、育むことを目指した、創意工夫された特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などの能力を育むとともに、主体的に学習に取組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努める。

【事業の概要】

◆小学校教育振興事業　本庁　24,776 千円

市内１９小学校の統括的な教育振興事業

○賃金	外国語指導助手　９名	5,795 千円
○報償費	卒業記念品他	977 千円
○需用費	教材用消耗品、教育用印刷費	4,311 千円
○委託料	各作品展運営委託料	155 千円
○使用料及び賃借料	校外活動車両借上料他	12,980 千円
○備品購入費	特別支援学級用教材	38 千円
○負担金	特別支援学級研修会負担金他	379 千円
○補助金	教職員大学院派遣事業補助金	141 千円

◆小学校教育振興事業　各小学校　25,516 千円

市内19小学校にて対応する教育振興事業

○報償費	講師謝礼		142 千円
○需用費			13,326 千円
	消耗品費（教材用）	12,375 千円	
	印刷製本費（卒業証書・保健調査票等）	550 千円	
	修繕料（教材備品）	401 千円	
○備品購入費	教材用備品		7,987 千円
	図書		4,061 千円

【次頁へ】…

予　算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業						決　算　書 P.　197	
中事業	01	小学校教育振興事業					所管部局	教育委員会事務局	学校教育課

…【前頁より】

◆環境・エネルギー教育支援事業　2,117 千円

【実施校】　市内１４小学校

【負担割合】　県 10/10

○備品購入費　理科教材用備品　2,117 千円

◆地域と進める体験推進事業　3,800 千円

【実施校】　市内１９小学校

【負担割合】　県 1/2

○委託料（地域と進める体験学習委託料）　3,800 千円

実施校	事業年度	主な活動計画内容
三国南小	H28～H30	地産地消や収穫感謝祭、伝統行事や伝統芸能への参加
三国北小	H29～H31	地域行事（祭、帯のまち流し）参加、三国の歴史調べ魅力発信
雄島小	H30～H32	地域の自然（海・山）観察体験、サーフィン体験学習
加戸小	H29～H31	地元畑作勤労生産学習（加戸のお茶・そば）、地域との文化交流
三国西小	H30～H32	らっきょう体験学習・調理、地域の伝統・文化の学習
平章小	H30～H32	丸岡城の学習・清掃・PR活動、古城祭り参加、米づくり体験
長畝小	H29～H31	米づくり・地産地消学習、長畝・竹田地区歴史学習
高椋小	H30～H32	米づくり・野菜づくりおよび販売、地域の歴史調べ
鳴鹿小	H29～H31	どろんこ教室の実施、まほろば学習、地域交流（いも作り）
磯部小	H30～H32	蛍の舞う水辺の里づくり、生き物調査、米・とうふづくり体験
明章小	H29～H31	米づくり、地域の魅力調査と地域高齢者との交流事業
春江小	H30～H32	防災学習、地域の防災マップ作成・発表及び地域との交流
春江西小	H29～H31	米づくり、野菜づくり、地域との交流
大石小	H30～H32	地域交流事業（米づくり、ユリづくり、野菜づくり）
春江東小	H29～H31	アーモンドの里づくりによる地域交流事業
東十郷小	H29～H31	米づくり、野菜づくり、花いっぱい運動参加、地域行事への参加
大関小	H29～H31	米づくり、野菜づくり、危険個所看板づくり
兵庫小	H30～H32	米・野菜づくり、地域行事への参加等、地域との交流
木部小	H29～H31	もち米づくりと笹もち作成販売、野菜づくり

【事業の成果と改善点等】

英語力向上のため、外国語指導助手（ＡＥＴ）を小学校3年～6年のクラスに配置し（3・4年生は年16時間、5・6年生は年35時間）、児童の英語を活用したコミュニケーション能力の向上を図った。道徳の教科化に伴う評価の方法についての研修や指導書の準備を行った。

また、小学校図書館の運営支援として、各中学校に配置している図書館司書が教育委員会や校区内小学校と定期的に意見交換しながら、学校図書の充実に努めた。

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業						決算書 P. 197	
中事業	06	小学校児童健康管理事業					所管部局	教育委員会事務局	学校教育課

予算額	当初	流用	決算額	不用額
	18,265 千円		18,036 千円	229 千円
前年度	18,666 千円		17,701 千円	965 千円

主な特定財源			
県支出金	子どもの目と歯の健康プロジェクト事業補助金	169 千円	
諸収入	雑入（日本スポーツ振興センター負担金）	2,408 千円	
		千円	

予算流用(増減)額	116 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

小学校における児童の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。

【事業の概要】

学校保健安全法に基づき、児童の健康管理のため各種健康診断を行う。

・内科及び歯科（全学年）、眼科（2年・5年）、耳鼻科（1年～3年）
・寄生虫（1年～3年）、尿（全学年）、心電図（1年）

○報償費	医師・歯科医師・薬剤師手当	10,244 千円
○需用費	事務用消耗品・印刷費	432 千円
○役務費	検査機器点検手数料	509 千円
○委託料	健康診断委託料	1,827 千円
○備品購入費	保健衛生用備品購入費	116 千円
○負担金	日本スポーツ振興センター負担金	4,908 千円
	加入者数　5,222人　　給付件数　329件	

【事業の成果と改善点等】

学校医及び学校歯科医による健康診断の診断結果に基づき、養護教諭により児童一人一人の健康課題について指導を行い、児童の健康保持・増進を図った。

また、県の補助を受け、秋の歯科健診を実施し、保健指導、経過観察および治癒への継続的なケアを行い、う歯の治癒率の向上を図った。

【事業の実績等】

	H30実績	H29実績
スポーツ保険給付件数	329件	364件

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業						決算書 P. 199	
中事業	21	学校生活ボランティア推進事業					所管部局	教育委員会事務局	学校教育課

予算額	当初	決算額	不用額
	158 千円	142 千円	16 千円
前年度	175 千円	149 千円	26 千円

主な特定財源			
県支出金	学校生活ボランティア推進事業費補助金	142 千円	
		千円	
		千円	

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

学校活動において、保護者及び地域の人たちのボランティアによる活動を取り入れ、児童の学校生活を支援することで、地域と連携したきめ細かな教育体制の充実を図る。

【事業の概要】

○役務費	傷害保険料	142 千円
	加入者数　406人	

【事業の成果と改善点等】

市内すべての小学校において、読み聞かせや収穫体験等の活動に対し、学校生活ボランティアとして地域の方々の協力をいただいた。

特に収穫体験については、農業の専門性を持った地域の方々から直接学ぶことにより、地域力を活かした教育が実現した。

【事業の実績等】

	H30実績	H29実績
加入者数	406人	427人

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業						決算書 P. 199	
中事業	26	ふれあい交流事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初	決算額	不用額
	4,878 千円	4,275 千円	603 千円
前年度	4,921 千円	4,275 千円	646 千円

主な特定財源		
寄附金	指定寄附金	200 千円
		千円
		千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

市の将来を担う子どもたちが、様々な交流を通して、各地域の個性と特色を尊重するとともに自らの地域を再認識し、郷土に対する愛着や誇りの気持ちを持てるよう、子どもたち同士の交流、地域との交流、小中学校間の交流を促進する。

【事業の概要】

○報償費	協力者謝礼	24 千円
○需用費	教材用消耗品費	40 千円
	食糧費	88 千円
○委託料	事業運営委託料（音楽会、連合運動会）	200 千円
	圃場管理委託料	102 千円
○使用料及び賃借料	車両借上料	3,812 千円
	体験学習使用料	9 千円

【事業の成果と改善点等】

市内の全小学校において、地域交流事業、小中連携事業、音楽交流会、連合運動会、自然教室を実施した。スキー教室は、全小学校で実施予定であったが、雪不足のために、2校のみ実施することができなかった。ふれあい交流事業については、県や市の魅力などを体験できるような取り組みを継続して実施する。

また、時代とともに変化する学習環境の中で、子どもたちに必要な事業を検討する。

予算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	小学校教育振興事業						決算書 P. 199	
中事業	31	学力充実推進事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初	決算額	不用額
	2,199 千円	2,150 千円	49 千円
前年度	2,160 千円	2,121 千円	39 千円

主な特定財源		
		千円
		千円
		千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

児童一人ひとりの「確かな学力」の育成状況を正しく把握するとともに学習課題を分析し、児童の学習改善や教員の授業における工夫改善に活用するために全学年での学力調査を実施し、児童の学力向上と教員の指導力向上を図る。

【事業の概要】

小学校6年生を対象に行われる全国学力・学習状況調査にの日程あわせて、全小学校の2～5年生の国語と算数の2教科について坂井市学力調査を行う。

調査の結果を踏まえ、各小学校における傾向や課題を見つけて、これを解決することや対策を見出すことを目的とした各小学校の研究主任によるワークショップを開催し、学力向上に向けた授業づくりの研究等を行う。

○委託料	学力調査委託料	2,150 千円
	受験者数　6,869人（2教科延べ）	

【事業の成果と改善点等】

全国で実施した大規模モニター調査によって標準化された「偏差値」に基づき、坂井市における児童の「確かな学力」を分析している。

また、各小学校においては、その学校の児童の調査結果に基づく継続的・実践的な取り組みにより、学力向上と教員の指導力向上が図られた。

予　算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	051	児童就学援助事業						決　算　書 P.　199	
中事業	01	児童就学援助事業					所管部局	教育委員会事務局	学校教育課

予算額	当初　補4号	決　算　額	不　用　額
	30,000 千円	27,594 千円	2,406 千円
前年度	29,938 千円	25,337 千円	4,601 千円

主な特定財源	国庫支出金	特別支援教育就学奨励費補助金	1,529 千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

学校教育法第１９条の規定に基づき、経済的な理由により就学が困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。

【事業の概要】

経済的な理由により就学が困難な児童の保護者に対して、給食費・学用品費・新入学用品費・修学旅行費・校外活動費・通学費等、学校生活に必要な経費の一部を援助する。

○扶助費

特別支援教育就学援助費	3,059 千円
要・準要保護児童就学援助費	24,535 千円

【事業の成果と改善点等】

就学援助を必要とする児童に対して、申請に基づき審査認定し、適正な援助を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。

要・準要保護児童就学援助費については、国の基準単価に基づき援助をしている。新入学の準備に必要な費用を援助するため、新入学用品準備金の早期支給を実施した。

【事業の実績等】

	H30実績	H29実績	増減
特別支援教育就学援助人数	96人	93人	3人
要・準要保護児童就学援助人数	380人	322人	58人

要・準要保護児童就学援助人数に新1年生入学準備金対象者を含む

予　算	款	10	教育費	項	02	小学校費	目	02	教育振興費
大事業	101	小学校通学支援事業						決　算　書 P.　199	
中事業	01	小学校通学支援事業					所管部局	教育委員会事務局	学校教育課

予算額	当初　補3号	決　算　額	不　用　額
	94,769 千円	89,441 千円	5,328 千円
前年度	83,970 千円	83,935 千円	35 千円

主な特定財源	諸収入	雑入（スクールバス利用者協力金）	6,613 千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

市内の小学校に、一定距離を超える地区から通学する地区の児童を対象にスクールバスを運行したり路線バスを活用したりして、遠距離の通学をする児童の通学支援を実施して、安全・安心な通学の確保を図る。

【事業の概要】

通学距離に応じて、委託スクールバスの運行や路線バス利用料金の補助を行う。

区分	要　　件
１年生～３年生	学校からの距離で、概ね1.5km以上の地区
４年生～６年生	学校からの距離で、概ね2.0km以上の地区 冬期間（12月～2月）のみ1.5km以上の地区

※利用期間は4月～3月（8月は除く）

○需用費	乗車証印刷製本費	30 千円
○委託料		83,048 千円
・スクールバス運行	三国地区（通年2台・冬期2台）	
	丸岡地区（通年6台・冬期8台）	
	春江地区（通年2台・冬期4台）	
	坂井地区（通年3台・冬期4台）	
○使用料及び賃借料	車両借上料　三国地区	205 千円
○補助金		
・通学費補助金（三国地区）		5,978 千円
・スクールバス停建設補助金（坂井町木部新保）		180 千円

【事業の成果と改善点等】

通学距離が一定距離以上の地区の児童を対象として、スクールバスの委託運行や路線バスの利用補助を行うことにより、安全で安心な通学手段を確保することができた。第2子以降の負担金を無償化し、多子世帯の経済的負担の軽減を行った。

【事業の実績等】

	H30実績	H29実績	増減
バス利用者数	1,340人	1,379人	△39人

予　算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	中学校教育振興事業						決　算　書 P.　201	
中事業	01	中学校教育振興事業					所管部局	教育委員会事務局	学校教育課

予算額	当初　補5号	決　算　額	不　用　額
	34,221 千円	33,091 千円	1,130 千円
前年度	29,250 千円	27,687 千円	1,563 千円

主な特定財源			
県支出金	地域と進める体験推進事業補助金	499	千円
県支出金	道徳教育総合推進事業委託金	96	千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

生徒に生きる力を教え、育むことを目指した、創意工夫された特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を育成し、個性を生かす教育の充実を図る。

【事業の概要】

◆中学校教育振興事業　本庁　19,605 千円

市内５中学校の統括的な教育振興事業

○賃金	学校図書館司書　5名	11,451 千円
○報償費	卒業記念品（印鑑）	647 千円
○旅費		76 千円
○使用料及び賃借料	音楽会及び特別支援学級合同研修会バス借上	702 千円
○負担金	県特別支援学級設置校学校長会負担金	13 千円
	坂井地区特別支援学級合同学習会負担金	165 千円
○補助金	教職員大学院派遣事業補助金	141 千円
○補償、補填及び賠償金		6,410 千円

◆中学校教育振興事業　各中学校　12,290 千円

市内５中学校にて対応する教育振興事業

○報償費	講師謝礼	73 千円
○需用費	消耗品費（教材用）	5,581 千円
	印刷製本費（卒業証書・保健調査票等）	960 千円
	修繕料（教材用備品）	351 千円
○役務費	職場体験傷害保険料（２年生）	127 千円
○備品購入費	教材用備品	2,889 千円
	図書	2,309 千円

【次頁へ】…

予　算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	中学校教育振興事業						決　算　書 P.　201	
中事業	01	中学校教育振興事業					所管部局	教育委員会事務局	学校教育課

…【前頁より】

◆キャリア教育支援事業　101 千円

○報償費	講師・協力者謝礼	67 千円
○需用費	事務用消耗品	21 千円
○使用料及び賃借料		13 千円

◆地域と進める体験推進事業　998 千円

【実施校】　市内５中学校

【負担割合】　県 1/2

○委託料（地域と進める体験学習委託料）　998 千円

実施校	事業年度	主な活動計画内容
三国中	H28～H30	ふるさと調査及び他市町見学、職業講演会、清掃活動
丸岡中	H30～H32	ふるさと調査・魅力発信（東京・金沢）、職場体験等
丸岡南中	H29～H31	ふるさと地域学習（地域のＰＲ・調査活動等）
春江中	H30～H32	伝統産業体験、職場体験、地域PR活動
坂井中	H29～H31	フラワーロード大作戦、地域行事（夏まつり）への参加

◆道徳教育総合推進事業　97 千円

【実施校】　丸岡中学校

【負担割合】　県 10/10

○報償費	講師謝礼	21 千円
○需用費	消耗品費	61 千円
○使用料及び賃借料	音響機器借上料	15 千円

【事業の成果と改善点等】

各中学校に１名づつ配置している学校図書館司書と教育委員会が連携して、学校図書館における生徒の意欲的な学習活動や読書活動の充実を推進している。

また、職場体験をはじめとするキャリア教育では、それぞれの中学校の生徒が職業体験などを実施した。キャリアフォーラムが市内で開催され、各学校から参加を得て、生徒自身が坂井市の魅力や特徴、そして自身の将来について考える機会となった。

地域と進める体験推進事業においては、全中学校の生徒が自らの地域について調査学習したり、地域行事に参加したりして、地域に誇りや愛着を持つ生徒の育成に取り組んだ。今後も継続して実施していく。

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	中学校教育振興事業						決算書 P. 203	
中事業	06	中学校生徒健康管理事業					所管部局	教育委員会事務局	学校教育課

予算額	当初	決算額	不用額
	7,816 千円	7,633 千円	183 千円
前年度	7,570 千円	7,255 千円	315 千円

主な特定財源		
諸収入	雑入（日本スポーツ振興センター負担金）	1,206 千円
		千円
		千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

中学校における生徒の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。

【事業の概要】

学校保健安全法に基づき、生徒の健康管理のため各種健康診断を行う。

・内科、歯科健診の実施（全学年）
・尿（全学年）、心電図（1年）検査の実施

○報償費	医師・歯科医師・薬剤師手当	3,240 千円
○需用費	健診票等印刷費	143 千円
○役務費	検査機器点検手数料	274 千円
○委託料	健康診断委託料	1,500 千円
○負担金	日本スポーツ振興センター負担金	2,476 千円
	加入者数　2,620人　　給付件数　415件	

【事業の成果と改善点等】

学校医及び学校歯科医による健康診断の診断結果に基づき、養護教諭により生徒一人一人の健康課題について指導を行い、生徒の健康保持・増進を図った。

【事業の実績等】

	H30実績	H29実績
スポーツ保険給付件数	415件	419件

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	中学校教育振興事業						決算書 P. 203	
中事業	16	クラブ活動推進事業					所管部局	教育委員会事務局	学校教育課

予算額	当初　補3号	決算額	不用額
	28,176 千円	24,577 千円	3,599 千円
前年度	24,252 千円	24,039 千円	213 千円

主な特定財源		
県支出金	地域スポーツ指導者配置事業補助金	348 千円
県支出金	部活動指導員配置促進事業補助金	1,800 千円
		千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

学校教育の一環として、課外活動であるクラブ活動を実施し、技術力・競技力の向上を図るとともに、出場する全国大会などの部活動の実践の機会を支援することにより、生徒の自主性、意欲の向上、集団としての規律等の社会性を育てる。

【事業の概要】

◆クラブ活動推進事業　20,803 千円

○報償費　激励費　2,712 千円

部活動において大会等（北信越中学校総合競技大会、全国中学校体育大会等）に出場する生徒及び指導者に対する経費の一部を支給。

・北信越中学校総合競技大会（石川県内）　1,573 千円
団体8種目100人・個人9種目35人
【出場種目】陸上（男女）・バスケットボール（男）・サッカー・軟式野球
バレーボール（男）・ソフトテニス（男女）・バドミントン（女）
柔道（男女）・相撲・新体操・卓球（男女）
・全国中学校体育大会（中国地方の各県）　478 千円
【出場種目】陸上（男女）・卓球（女）・柔道（男女）
・北陸吹奏楽コンクール2校（石川県金沢市）　336 千円
・ＮＨＫ杯全国中学校放送コンテスト（東京都）　239 千円
・北陸アンサンブルコンテスト　77 千円
・中部日本個人・重奏コンテスト　9 千円

○委託料　中学校クラブ活動競技力向上委託料　16,356 千円

部活動の競技力を向上を図るため、強化練習会等競技力の向上を目的とする事業を各中学校に委託。

・三国中学校　（511人　22ｸﾗﾌﾞ）　3,324 千円
・丸岡中学校　（559人　23ｸﾗﾌﾞ）　3,530 千円
・丸岡南中学校　（364人　19ｸﾗﾌﾞ）　2,701 千円
・春江中学校　（668人　26ｸﾗﾌﾞ）　4,070 千円
・坂井中学校　（378人　19ｸﾗﾌﾞ）　2,731 千円

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
大事業	001	中学校教育振興事業						決算書 P. 203	
中事業	16	クラブ活動推進事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

…【前頁より】

○備品購入費　吹奏楽部楽器購入費　1,735 千円
- 丸岡中学校（チューバ）
- 丸岡南中学校（トランペット、クラリネット）
- 春江中学校（コントラバス）
- 坂井中学校（ホルン、トライアングル）

◆地域スポーツ指導者配置事業　1,069 千円
【実施校】　市内5中学校 14人
【負担割合】　県 1/3
○報償費　指導謝礼　1,044 千円
○役務費　傷害保険料　25 千円

◆部活動指導員配置事業　2,705 千円
【実施校】　市内4中学校（三国中、丸岡南中、春江中、坂井中）　9人
【負担割合】　国 1/3 県 1/3
○報償費　指導謝礼　2,705 千円

【事業の成果と改善点等】
クラブ活動の環境が整備されたことにより、生徒の技術力・競技力が向上し、北信越大会や全国大会等への出場機会が増え、生徒の更なる意欲向上につなげることができた。
教員の働き方改革の対策の一つとして、また、生徒のスポーツ活動における技術力向上のため、外部指導者を配置した。

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
大事業	051	生徒就学援助事業						決算書 P. 203	
中事業	01	生徒就学援助事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初	決算額	不用額
	33,800 千円	29,805 千円	3,995 千円
前年度	35,801 千円	29,974 千円	5,827 千円

主な特定財源	国庫支出金	特別支援教育就学奨励費補助金	764 千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】
学校教育法第１９条の規定に基づき、経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。

【事業の概要】
経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して、給食費・学用品費・新入学用品費・修学旅行費・校外活動費・通学費等、学校生活に必要な経費の一部を援助する。

○扶助費
特別支援教育就学援助費　1,529 千円
要・準要保護生徒就学援助費　28,276 千円

【事業の成果と改善点等】
就学援助を必要とする生徒に対して、申請に基づき審査認定し、適正な援助を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。
要・準要保護児童就学援助費については、国の基準単価に基づき援助をしている。新入学の準備に必要な費用を援助するため、新入学用品準備金の早期支給を実施した。

【事業の実績等】

	H30実績	H29実績	増減
特別支援教育就学援助人数	32人	30人	2人
要・準要保護生徒就学援助人数	259人	232人	27人

予算	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
大事業	101	中学校通学支援事業						決算書 P. 203	
中事業	01	中学校通学支援事業					所管部局	教育委員会事務局	学校教育課

予算額	当初 補3号	決算額	不用額
	55,922 千円	51,843 千円	4,079 千円
前年度	48,998 千円	48,516 千円	482 千円

主な特定財源			
	諸収入	雑入（スクールバス利用者協力金）	5,670 千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

市内の中学校に通学する生徒に統一した支援を行うため、学校からの一定距離以上の地区を対象にスクールバスを運行し、遠距離通学の解消と、より安全、安心な通学の確保を図る。

【事業の概要】

通学距離が一定の基準を超える通学者に対して、スクールバスの委託運行や路線バス利用料金の補助を行う。

区分	
全学年	学校からの距離で、概ね4.0km以上の地区 冬期間（12月～2月）のみ3.0km以上の地区

※利用期間は4月～3月（8月は除く）

○委託料 48,773 千円

・スクールバス運行
- 三国地区５台（通年・冬期）
- 丸岡地区４台（通年・冬期）
- 春江地区３台（冬期）
- 坂井地区３台（通年・冬期）

○補助金（通学バス運行支援事業補助金） 丸岡南中学校区 3,070 千円

【事業の成果と改善点等】

通学距離が一定の基準を超える生徒を対象に、スクールバスの委託運行や通学費の補助を行うことにより、遠距離通学の解消と安全、安心な通学を確保することができた。第2子以降の負担金を無償化し、多子世帯の経済的負担の軽減を行った。

また、地域からの要望により、地域団体が主体的に取り組む通学バス運行についての経費支援について、通学バス運行支援事業補助金に基づいて交付を行った。

【事業の実績等】

	H30実績	H29実績	増減
バス利用者数	592人	608人	△16人

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	051	学校給食管理事業						決算書 P. 223	
中事業	01	学校給食管理事業					所管部局	教育委員会事務局	学校教育課

予算額	当初 流用	決算額	不用額
	92,737 千円	78,548 千円	14,189 千円
前年度	88,828 千円	83,306 千円	5,522 千円

主な特定財源			
	県支出金	電源地域振興補助金	4,700 千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	△ 1,876 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。

【事業の概要】

○賃金 78,463 千円
- 丸岡地区自校調理場調理師 11 名
- 三国学校給食センター調理師 13 名
- 春江坂井学校給食センター調理師 22 名

○需用費 料理講習会用材料費 85 千円

【事業の成果と改善点等】

丸岡自校式や三国、春江坂井学校給食センターにおける給食提供にあたっては、安全で安心な給食の提供のため、臨時職員の確保等、安定した調理体制の確立を図った。

また、管理栄養士や給食調理員を対象とした研修の実施、衛生管理等の向上に努めた。

さらに、地産地消を推進するために、県の地産地消コーディネーター事業を活用して、農業関連団体、地元生産者による検討委員会を開催した。若狭牛や市産の野菜だけを使用した「sakaiふるカレー」や、三国港で水揚げされた甘エビを使用したエビフライなどを、全小中学校で提供した。今後も、継続して地産地消の推進に努める。

予　算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	051	学校給食管理事業						決　算　書 P.　225	
中事業	16	丸岡学校給食管理事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

予算額	当初　補2号	決　算　額	不　用　額
	235,897 千円	223,028 千円	12,869 千円
前年度	233,239 千円	226,572 千円	6,667 千円

主な特定財源	諸収入	雑入（小学校給食負担金）	94,875 千円
	諸収入	雑入（中学校給食負担金）	56,525 千円
	諸収入	雑入（厨房設備使用料他）	1,510 千円
予算流用(増減)額		0 千円　予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。

【事業の概要】

◆丸岡学校給食管理事業　本庁　6,070 千円

○旅費	調理師研修会参加時普通旅費	8 千円
○需用費	消耗品費（給食衛生用、給食用他）	1,286 千円
	修繕料（給食用器具等）	1,099 千円
	賄材料費（コシヒカリ給食推進事業）	195 千円
○役務費	検査手数料（食材・調理師腸内細菌検査）	796 千円
○委託料	調理場内害虫駆除委託料	699 千円
○備品購入費	給食用備品購入費	1,987 千円

◆丸岡学校給食管理事業　丸岡　216,958 千円

自校式5校2園（平章小・長畝小・高椋小・磯部小・明章小・高椋幼・磯部西幼）

○需用費	消耗品費（給食用消耗品費他）	1,579 千円
	光熱水費（ガス）	7,017 千円
	賄材料費（給食材料費及び牛乳代）	92,619 千円

【次頁へ】…

予　算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	051	学校給食管理事業						決　算　書 P.　225	
中事業	16	丸岡学校給食管理事業						所管部局	教育委員会事務局 学校教育課

…【前頁より】

民間委託3校（丸岡中・丸岡南中・鳴鹿小）

○需用費	消耗品費（給食用消耗品費）	39 千円
	賄材料費（給食材料費及び牛乳代）	11,148 千円
○委託料	学校給食調理業務等委託料	104,556 千円

- Cネットふくい委託分（鳴鹿小）　11,550 千円
- Cネットふくい委託分（丸岡南中）　42,991 千円
- （有）ランチサービス委託分（丸岡中）　50,015 千円

給食の状況	給食人員（日）	給食延数
	2,985人	571,904食

【事業の成果と改善点等】

丸岡の学校給食については、自校式および調理業務委託により実施し、学校給食衛生管理基準に基づき適正な衛生管理に努めた。

また、給食の食材確保については、地元業者や地場産を中心とした安全・安心な食材の購入を基本に、おいしく栄養バランスのとれた学校給食の提供を図った。

今後も管理栄養士が中心となり、新鮮で安全な食材の質と量の供給体制について検討し、地場産食材使用率の向上に努める。

【事業の実績等】

地場産（県産）食材使用率（実績）	H30	H29
	50.2%	56.6%

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	101	学校給食施設建設事業						決算書 P. 227	
中事業	01	学校給食施設建設事業					所管部局	教育委員会事務局	学校教育課

予算額	当初　補2号	決算額	不用額
	228,933 千円	227,326 千円	1,607 千円
前年度	28,300 千円	27,914 千円	386 千円

主な特定財源			
市債	合併特例事業債	214,500 千円	
		千円	
		千円	

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

老朽化が著しい三国学校給食センターを、学校給食の提供における様々な課題点を踏まえ、園児、児童、生徒に安全で安心な学校給食を提供するために、国の学校給食衛生管理基準等に適合した施設に令和2年4月からの提供開始に向けて整備する。

【事業の概要】

○委託料　3,607 千円
- ・監理委託料　2,851 千円
- ・コンサルティング委託料　756 千円

○工事請負費　223,000 千円

○負担金、補助及び交付金（上下水道加入者負担金）　719 千円

【事業の成果と改善点等】

令和2年4月からの提供開始に向けて、平成30年9月に建設に着手した。

また、調理および洗浄業務を民間委託することを計画しているため、その準備に取り掛かる。

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	051	学校給食管理事業						決算書 P. 223	
中事業	06	三国学校給食管理事業					所管部局	教育委員会事務局	三国学校給食センター

予算額	当初　補2号	決算額	不用額
	136,430 千円	134,629 千円	1,801 千円
前年度	134,865 千円	132,307 千円	2,558 千円

主な特定財源			
諸収入	雑入（小学校給食負担金）	61,163 千円	
諸収入	雑入（中学校給食負担金）	30,937 千円	
諸収入	雑入（その他教育費雑入）	9 千円	

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

「園児・児童・生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。

【事業の概要】

中学校1校（三国）、小学校6校（三国南・三国北・雄島・加戸・三国西・木部）、幼保園3園（みくに未来・加戸・三国南）、こども園１園（雄島）の計１１施設に給食を提供する。なお、幼保園、子ども園分に係る費用については保育園費にて対応している。

○需用費　115,698 千円
- 消耗品費　2,619 千円
- 燃料費　8,221 千円
- 光熱水費　10,928 千円
- 修繕料　950 千円
- 賄材料費　92,980 千円

給食の状況	給食人員		給食延数
	学　校	1,857人	344,626食
	幼保園等	482人	108,364食
合　計		2,339人	452,990食

○役務費　1,104 千円
- 通信運搬費　150 千円
- 手数料　924 千円
- 火災保険料　15 千円
- 自動車保険料　15 千円

○委託料　17,564 千円
- 害虫駆除委託料　240 千円
- 警備保障委託料　188 千円

【次頁へ】…

予　算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	051	学校給食管理事業						決　算　書 P.　223	
中事業	06	三国学校給食管理事業						所管部局	教育委員会事務局 三国学校給食センター

…【前頁より】

受水槽管理委託料	99	千円
消防設備保守点検委託料	27	千円
清掃委託料	220	千円
電気工作物保守点検委託料	162	千円
コピー機保守点検委託料	50	千円
栄養管理システム保守委託料	177	千円
地下タンク定期検査委託料	99	千円
給食配送業務委託料	15,999	千円
ボイラー保守点検委託料	303	千円

○使用料及び賃借料　62 千円

CATV利用料	34	千円
電算機器借上料	14	千円
放送受信料	14	千円

○備品購入費　198 千円

給食用備品購入費

○負担金　3 千円

学校給食センター連絡協議会負担金

【事業の成果と改善点等】

給食の材料については、地場産を中心とした安全・安心な食材を取り入れ、美味しく栄養バランスのとれた学校給食の提供に努めた。今後も、農産物や水産物など旬な時期に合わせた地元の食材を献立メニューに取り入れながら、積極的に食育及び地産地消に取り組んでいく。

【事業の実績等】

地場産（県産）食材の使用率（実績）	H30	H29
	54.1　%	64.6　%

予　算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	051	学校給食管理事業						決　算　書 P.　225	
中事業	11	春江坂井学校給食管理事業						所管部局	教育委員会事務局 春江坂井学校給食センター

予算額	当初　補2号　流用	決　算　額	不　用　額
	275,226 千円	270,937　千円	4,289 千円
前年度	276,481 千円	269,391　千円	7,090 千円

主な特定財源	諸収入	雑入（小学校給食負担金）	118,919 千円
	諸収入	雑入（中学校給食負担金）	67,092 千円
	諸収入	雑入（その他教育費）	27 千円

予算流用(増減)額	1,876 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

「園児、児童、生徒が生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う、安全で美味しく、栄養バランスのとれた給食」を提供することにより、健康増進、体位向上を図るとともに、学校給食における正しい食事のあり方や望ましい食習慣等、食に関する指導の充実を図る。

【事業の概要】

中学校2校（春江・坂井）、小学校7校（春江・春江西・大石・春江東・東十郷・大関・兵庫）、幼保園2園（春江・春江東）の計11施設に給食を提供する。

○需用費　237,548千円

消耗品費	6,228千円
燃料費	24千円
光熱水費	34,541千円
修繕費	1,063千円
賄材料費	195,692千円

	給食人員	給食延数
給食の状況	3801	725,384

○役務費　1,749千円

通信運搬費	213千円
手数料	1,482千円
火災保険料	37千円
自動車保険料	17千円

【次頁へ】…

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	04	学校給食費
大事業	051	学校給食管理事業						決算書 P. 225	
中事業	11	春江坂井学校給食管理事業					所管部局	教育委員会事務局	春江坂井学校給食センター

…【前頁より】

○委託料　31,193千円

エレベーター保守点検委託料	648千円
害虫駆除委託料	216千円
警備保障委託料	45千円
施設管理委託料	498千円
施設保守点検委託料	4,752千円
受水槽管理委託料	216千円
消防設備保守点検委託料	400千円
電気工作物保守点検委託料	588千円
電算機器保守点検委託料	177千円
配送業務委託料	20,687千円
一般廃棄物収集委託料	143千円
ボイラー保守点検委託料	680千円
シルバー人材センター調理員業務委託料	1,875千円
調理機器点検委託料	268千円

○使用料及び賃借料　83千円

放送受信料	14千円
デマンド監視システム使用料	69千円

○備品購入費　358千円

施設用備品購入費	28千円
給食用備品購入費	330千円

○負担金　学校給食センター連絡協議会負担金　6千円

【事業の成果と改善点等】

給食の材料については、地場産を中心とした安全・安心な食材を取り入れ、美味しく栄養バランスのとれた学校給食の提供に努めた。また、本年度は本県の特産食材を使い若狭牛カレー、ふくいサーモンの野菜あんかけ、白茎ごぼうご飯を献立に取入れた。数量の確保が難しい地場産品については、今後も安全な食材の質と量の確保にむけ、農業関連業者や地元生産者等と連携をとりながら地場産食材の使用率向上に努める。

【事業の実績等】

地場産（県産）食材使用率（実績）	H30	H29
	60.9 %	54.8 %

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
大事業	051	社会教育事業						決算書 P. 203	
中事業	01	社会教育事務事業					所管部局	教育委員会事務局	生涯学習スポーツ課

予算額 当初	決算額	不用額
10,712 千円	10,441 千円	271 千円
前年度 10,685 千円	10,465 千円	220 千円

主な特定財源		
県支出金	人権問題社会教育指導員設置費補助金	216 千円
		千円
		千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

社会教育法に基づく社会教育委員の会を設置し、社会教育行政全般における調査及び審議を通して答申・建議を行うとともに、社会教育指導員を各地区に配置し、地域の課題や市民の要望を反映した社会教育の振興を図る。また、生涯学習講演会を開催し、より高い文化の創造を図る。

【事業の概要】

社会教育法に基づく社会教育委員の設置・運営

○報酬	社会教育委員１５名	510千円
○賃金	社会教育指導員賃金５名	8,912千円
○旅費		103千円
○需用費		32千円
消耗品費		7千円
食糧費		3千円
印刷製本費		22千円
○委託料		803千円
	講演会業務委託料	783千円
	警備委託料	20千円
○賃借料	機器賃借料	9千円
○負担金		72千円
県社会教育委員連絡協議会負担金		41千円
東海北陸社会教育研究大会負担金		6千円
県社会教育研究集会参加負担金		10千円
県社会教育連絡協議会会費		15千円

【事業の成果と改善点等】

社会教育委員の会を年４回開催し、地区・県開催の各研修会へも参加した。また、合宿通学事業の実行委員として事業視察を行い、子ども会壁新聞コンクールの審査や青少年健全育成推進大会、心の教育講演会等への参加などの活動を行った。社会教育指導員は、地域の課題を解決する社会教育の振興を図った。

生涯学習講演会では俳人夏井いつき氏による「句会ライブ」をハートピア春江にて開催し、老若男女問わず700名の参加があり盛況を得た。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
大事業	051	社会教育事業						決算書 P. 205	
中事業	06	社会教育団体補助事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初	決算額	不用額
	1,840 千円	1,840 千円	0 千円
前年度	1,910 千円	1,860 千円	50 千円

主な特定財源			
			千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

補助金の交付により社会教育団体の育成と活動の促進を図る。

【事業の概要】

○補助金 1,840千円

- 坂井市PTA連合会事業補助金 250千円
- 青少年育成団体運営補助金 240千円
  - ・ボーイスカウト第5団 70千円
  - ・ガールスカウト第17団 70千円
  - ・ガールスカウト第20団 70千円
  - ・三国海洋少年団 30千円
- 坂井市かるた協会事業補助金 350千円
- 坂井市女性の会運営補助金 1,000千円

【事業の成果と改善点等】

地域社会の活力向上や、社会教育活動を通した市民の交流、青少年の健全育成等を行う社会教育団体の活動・運営を支援し、組織の育成を図った。なお、各団体には、会費収入等自己財源の確保による補助金割合の適正化を促しており、坂井市女性の会については、平成２５年度より補助額を段階的に見直している。また、平成３０年度から三国海洋少年団の補助金交付を再開した。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費
大事業	151	市民運動推進事業						決算書 P. 205	
中事業	01	市民運動推進事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初	決算額	不用額
	416 千円	416 千円	0 千円
前年度	416 千円	416 千円	0 千円

主な特定財源			
			千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

市民自らの創意による様々な実践活動を通して、市民憲章に根ざした活力ある住みよいふるさとづくりの推進を図る。

【事業の概要】

○負担金 416千円

- 坂井市民運動推進協議会負担金 220千円
- あすの福井県を創る協会負担金 196千円

第13回坂井市花壇コンクール

- 審査日 9月18日（火）三国地区・丸岡地区
  9月19日（水）坂井地区・広域
  9月20日（木）春江地区
- 場　所 市内の花壇
- 参加数 60地区団体

坂井市ふるさとづくり大会

- 期　日 1月23日（水）
- 場　所 ハートピア春江　大ホール
- 内　容 坂井市市民運動実践者表彰
  生涯学習講座

【事業の成果と改善点等】

坂井市民運動推進協議会による「坂井市ふるさとづくり大会」を開催し、より一層豊かで明るく、住みたくなるまちづくりを目指して市民運動への意識向上と推進を図った。

平成30年度は、福井しあわせ元気国体を盛り上げようと、花壇コンクールでは、大会日程に合わせた花の育成に取り組み、おもてなしの気持ちをもって国体を盛り上げた。

予　算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	04	国際交流推進費
大事業	001	国際交流推進事業						決　算　書 P.　205	
中事業	01	国際交流推進事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初	決　算　額	不　用　額
	14,034 千円	11,489 千円	2,545 千円
前年度	13,381 千円	12,067 千円	1,314 千円

主な特定財源	国庫支出金	地方創生推進交付金	1,967 千円
	諸収入	雑入（海外派遣事業参加者負担金）	5,400 千円
	諸収入	雑入（海外派遣事業参加者負担金ロータリークラブ分）	400 千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

市内中学校生徒の英国への派遣と英国からの生徒の坂井市受入れ招へいを実施し、相互のホームステイや授業参加などを通して、国際化時代に対応できる人材を育成する。
また、中学1年生を対象とする英国派遣団の事前研修体験イベントや、市内中学生を対象に国際交流イベントを開催し、より多くの生徒に国際交流の機会を提供する。

【事業の概要】

〈招へい期間〉平成30年6月27日（水）～7月6日（金）　10日間
〈招へい人数〉生徒　25人（男子8人、女子17人）　引率者　4人
（プラスマウルコンプリヘンシブスクール）

〈派遣期間〉　平成31年3月13日（水）～22日（金）　10日間
〈派遣先〉　英国ウェールズ　カーディフ市
（バース、オックスフォードおよびロンドン）
〈派遣人数〉　生徒27人（男子12人、女子15人）　引率者5人
（市内在住で市内中学校の2年生に在学する生徒）

・国際交流イベント
〈日程〉　平成30年12月15日（土）
〈参加人数〉　市内中学校1～3年生　23名（男子4人、女子19人）

・英国派遣団事前研修体験参加
〈日程〉　平成31年2月3日（土）
〈参加人数〉　市内中学校の1年生18名（男子10人、女子8人）

○報償費　202千円
- 協力者謝礼　51千円
- 委員謝礼（派遣団員選考委員3名）　50千円
- 指導謝礼（事前研修講師24名）　96千円
- 出演者謝礼（招へい交流会時）　5千円

予　算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	04	国際交流推進費
大事業	001	国際交流推進事業						決　算　書 P.　205	
中事業	01	国際交流推進事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

…【前頁より】

○旅費　引率者旅費（5名）　183千円
○需用費　546千円
- 消耗品費　270千円
- 食糧費　259千円
- 印刷製本費　17千円

○委託料　事業運営委託料（招へい、派遣）　10,500千円
○使用料及び賃借料　（事前研修時寝具借上料）　58千円

【事業の成果と改善点等】

英国招へいで、春江・丸岡中学校での趣向を凝らした交流会や授業参加、またホストファミリーを中心に、異文化交流を図ることで、国際理解教育を進めることができた。また平成30年度より招へい期間を1日延長し、関西で過ごしたが、次年度より坂井市での交流を更に深められるよう日程調整を図る。

英国派遣に関しては、派遣までの約半年間、ホームステイ体験や日本文化紹介に向けた事前研修を行い、英語でのコミュニケーション能力の向上に努めた。現地でのホームステイ・授業参加等を通し、現地英国生徒と交流を深めるとともに、派遣団としての仲も深めることができた。

また、中学1年生を対象とした英国派遣団事前研修体験参加では、先輩団員の研修を見学したり、実際に英会話など語学研修に参加したりするなど、派遣団としての研修を体験することで、更に英国派遣への興味を深めていたようである。

国際交流イベントは県内ALT6名の協力のもと、クリスマスにちなんだ活動を行い、中学校の枠を超えて英語でのゲームや、リースづくりなどをが好評であった。英国派遣・招へい事業に参加できなかった生徒も数名このイベントに参加しており、国際交流の幅が広がったと感じる。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業						決算書 P. 205	
中事業	01	子ども会育成事業						所管部局	教育委員会事務局 / 生涯学習スポーツ課

予算額	当初	決算額	不用額
	2,142 千円	2,139 千円	3 千円
前年度	2,142 千円	2,138 千円	4 千円

主な特定財源			
			千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

幼少年期から、家族や先生以外の地域の大人と関わる機会を提供し、地域に根ざした様々な活動体験を通して子どもたちを健やかに育てていくとともに、青少年のリーダーとなる人材の育成に資する。

【事業の概要】

○負担金 155千円

- 福井県子ども会育成連合会負担金 65千円
- 坂井地区子ども会育成連絡協議会負担金 90千円

○補助金 坂井市子ども会育成連絡協議会運営補助金 1,984千円

ジュニアリーダー活動日数（重複含む）

	平成30年度
依頼	54日
例会	93日
自主企画	4日
研修	2日
合計	153日

【事業の成果と改善点等】

青少年のリーダー育成を目的に、市子連協議会を事業主体として、子ども会活動の支援や組織の育成を図った。特に平成30年度は「壁新聞コンクール」に注力し、表彰式に合わせて全作品の展示を行うことで市民への広報活動を行ったほか、小学校やコミセン等積極的に展示した。また、『組織運営部会』、『育成指導部会』、『総務広報部会』の3部会の活性化を図り、今後の子ども会活動を盛り立てていくような体制づくりに取り組んだ。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業						決算書 P. 205	
中事業	06	成人式事業						所管部局	教育委員会事務局 / 生涯学習スポーツ課

予算額	当初	決算額	不用額
	1,473 千円	1,147 千円	326 千円
前年度	1,416 千円	1,359 千円	57 千円

主な特定財源			
			千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

新成人の門出を祝福するとともに、一人ひとりが成人したことを自覚し、これから社会の中で自主的・協力的に行動するよう激励する。

【事業の概要】

〈期　日〉 平成31年1月13日(日)　午後1時30分～
〈会　場〉 ハートピア春江
〈対象者〉 新成人1,128人
〈参加者〉 新成人897名（男性443人、女性454人　出席率79.5%）

○報償費 867千円

- 成人式実行委員等謝礼 60千円
- 成人式協力者謝礼 10千円
- 記念品等（越前織名刺入れ） 797千円

○需用費 180千円

- 消耗品費 96千円
- 食糧費 38千円
- 印刷製本費 46千円

○役務費 87千円

- 通信運搬費 68千円
- 手数料　（クリーニング代） 3千円
- 筆耕翻訳料 16千円

○使用料及び賃借料　（会場使用料） 13千円

【事業の成果と改善点等】

新成人による実行委員会が企画・運営することで、今回のテーマである＃animato（アニマート）のもと、生き生きと自分たちの道を進んでいくという決意を新たにするきっかけとなった。

【事業の実績等】

	平成30年度	平成29年度
成人式出席率	79.5%	79.0%

予　算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業						決　算　書 P.　207	
中事業	11	わんぱく少年団事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初	決　算　額	不　用　額
	596 千円	430 千円	166 千円
前年度	529 千円	416 千円	113 千円

主な特定財源	諸収入	雑入（わんぱく少年団参加者負担金）	93 千円 千円 千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

自然の中で行う様々な体験を通じて、仲間との協力の大切さを学ぶとともに自立心の向上を図り、人との関わりや今後の人生をより豊かに過ごせるような積極性を身につけることを目的とする。

【事業の概要】

〈名　称〉　「2018 SAKAIわんぱく少年団」
〈対象者〉　坂井市内小学校５・６年生１６人
〈実施期間〉　学校週休日・夏休み（６月～３月）
〈実施回数〉　９回
〈実施内容〉　結団式、カヌーツーリング、国体に参加しよう（ドッヂビー編）、国体に参加しよう（ディスクゴルフ編）、サマーキャンプ、ミステリーウォークラリー、クリスマス会、ウインターキャンプ、修了式

○需用費			279千円
	消耗品費	74千円	
	食糧費	205千円	
○役務費	傷害保険料		13千円
○使用料	施設使用料（ちくちくぼんぼん、芦原青年の家 ほか）		138千円

【事業の成果と改善点等】

坂井市の豊かな自然を、あらゆる体験活動を通して触れ合うことで、子どもたちのふるさと坂井市を大切にする健やかな心身を育むことができた。今年度は国体が開催されたことから、団員にデモンストレーション競技に親しんでもらい、坂井市および国体への関心を深めた。今後も、子どもたちができるだけ多く参加できるような実施時期の調整や、参加したくなるような魅力ある内容の充実に努めていく。また、この事業にジュニアリーダーが深く関わることで、ジュニアリーダーに興味を示す団員もおり、ジュニアリーダーの新規メンバー確保にも繋がっている。

予　算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業						決　算　書 P.　207	
中事業	16	青少年育成坂井市民会議事業						所管部局	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課

予算額	当初	決　算　額	不　用　額
	2,126 千円	2,036 千円	90 千円
前年度	5,926 千円	5,582 千円	344 千円

主な特定財源			千円 千円 千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

近年の青少年を取り巻く環境に鑑み、広く市民の総意を結集して「青少年育成坂井市民会議」を組織し、次代を担う青少年の健全な育成を図る。

【事業の概要】

青少年育成坂井市民会議の主な活動

期　日	事　業　名	場　所
5月26日（木）	青少年育成坂井市民会議総会	たかむく古城ホール
7月14日（土）	非行防止一斉キャンペーン	春江アミ、丸岡ピアゴ
9月26日（水）	「赤ちゃん抱っこ」体験学習 ～ 28日（金）	丸岡中学校
10月11日（木）	「赤ちゃん抱っこ」体験学習 ～ 12日（金）	丸岡南中学校
10月15日（月）	「赤ちゃん抱っこ」体験学習 ～ 16日（火）	坂井中学校
10月17日（水）	「赤ちゃん抱っこ」体験学習 ～ 18日（木）	三国中学校
10月23日（火）	「赤ちゃん抱っこ」体験学習 ～ 25日（木）	春江中学校
11月10日（土）	一斉街頭啓発キャンペーン	プラント-2、イーザ
12月　1日（土）	坂井市青少年健全育成推進大会	いねす
12月　1日（土）	「心の教育講演会」	いねす

○補助金　青少年育成坂井市民会議運営補助金　2,036千円

【事業の成果と改善点等】

青少年が健全に成長していく環境づくりや、青少年の健全な心を育てることに貢献することができた。また、中学生を対象とした、命の教育「赤ちゃん抱っこ体験学習」を新たに２校増やし、今年度は市内のすべての中学校で実施することができた。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業						決算書 P. 207	
中事業	21	放課後子ども教室推進事業					所管部局	教育委員会事務局	生涯学習スポーツ課

予算額 当初	決算額	不用額
4,000 千円	3,931 千円	69 千円
前年度 4,000 千円	3,971 千円	29 千円

主な特定財源			
	県支出金	放課後子どもプラン事業補助金	2,426 千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

地域づくり・コミュニティの拠点であるコミュニティセンターで、様々な放課後子ども教室を実施し、子どもたちにさまざまな学習・体験活動の機会を提供する。

【事業の概要】

コミュニティセンターで、学習アドバイザーや安全管理員など、学校・家庭・地域の連携協力推進事業の一部として、地域の方々の協力を得て実施。各地域の実情に合わせながら、書道やお菓子作り、読書感想文教室など長期休暇の宿題を中心とした教室を開催したり、生け花教室、三味線教室、英語教室など定期的に教室を開催したりするなど、子ども達が安全に学べる機会を提供した。

○委託料　放課後子ども教室実施委託料（25教室）　3,931千円

【事業の成果と改善点等】

地域のボランティアの協力を得て、地域の実情に応じた様々な体験・活動を行うことにより、安全・安心な子どもの活動拠点を設けることができた。今後は、家庭教育支援チームとも連携しながら、更に活動の幅を広げていきたい。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業						決算書 P. 207	
中事業	26	合宿通学事業					所管部局	教育委員会事務局	生涯学習スポーツ課

予算額 当初	決算額	不用額
1,290 千円	990 千円	300 千円
前年度 1,650 千円	1,365 千円	285 千円

主な特定財源			
	国庫支出金	地方創生推進交付金	479 千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

コミュニティセンターに２泊３日または３泊４日で宿泊し、自分の身の回りのことはすべて自分で行いながら自立心を育むとともに、日常生活における家族の苦労や、愛情の深さに気付き、感謝する気持ちを養う。

【事業の概要】

期間	場所	対象者	参加人数
6月21日（木）～23日（土）	春江中ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	大石小学校　5年生	38名
10月18日（木）～20日（土）	坂井木部ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	木部小学校　4年生	15名
11月 1日（木）～ 3日（土）	鳴鹿ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	鳴鹿小学校　4年生	20名
11月 7日（水）～10日（土）	三国ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	三国南小学校 6年生	29名
合計			102名

○委託料　合宿通学事業業務委託料　990千円

【事業の成果と改善点等】

家庭を離れて、長期間の宿泊を伴う日常生活体験は、学校教育では得られない大変貴重な体験であり、事業目的に沿った効果が得られた。また、地域の方がボランティアとして関わることで、地域の教育力の醸成にも繋がっている。参加児童及び保護者からも、『是非来年も！』と、大変好評価を得ている事業ではあるが、運営面等で各地区から1校ずつの年間計4校での実施が現状である。そうした中、PTA主催で実施しようという新たな動きがあり、運営の手順や留意事項のレクチャー、食器類などの備品の貸与等で協力した。今後も、少しでも多くの児童が参加できるよう、いろいろな形で本事業に取り組んでいきたい。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	001	青少年健全育成事業						決算書 P. 207	
中事業	31	坂井・延岡ジュニア交流事業					所管部局	教育委員会事務局	生涯学習スポーツ課

予算額 当初	決算額	不用額
746 千円	633 千円	113 千円
前年度 1,572 千円	1,314 千円	258 千円

主な特定財源			
国庫支出金	地方創生推進交付金	185	千円
諸収入	雑入(坂井･延岡ジュニア交流事業参加者負担金)	40	千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

宮崎県延岡市と坂井市の姉妹都市交流事業の一環として、小学校児童を対象に両市の名所旧跡を学習することを通じて人的交流を図り、将来的に両市の縁を強めていくことを目的とする。

【事業の概要】

1年ごとに坂井市と延岡市を相互に訪問し交流を行っている。今年度は坂井市に招へいし、延岡市の小学生と交流を行った。

〈期　間〉　平成30年7月31日（火）～8月2日（木）　3日間
〈参加者〉　坂井市内小学5・6年生 20名、市P連2名、事務局2名
　　延岡市内小学5・6年生 19名、市P連2名、事務局2名

○報償費		26千円
○需用費		365千円
	消耗品費	128千円
	食糧費	232千円
	印刷製本費	5千円
○役務費		20千円
	通信運搬費	3千円
	傷害保険料	17千円
○使用料及び賃借料　（バス借上料、入場料 ほか）		222千円

【事業の成果と改善点等】

今年度は坂井市に延岡市児童を招へいした。坂井市の児童は、坂井市の魅力を伝えるとともに延岡市児童に対し積極的に交流する様子がみられた。別れの際には手紙のやり取りを約束するなど、子どもたちの中では新たな交流が芽生えている様子を感じ取ることができた。訪問の年においても、魅力的な交流内容とし次年度の招へいにつながる工夫をしていきたい。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	青少年健全育成費
大事業	051	心の家庭教育支援事業						決算書 P. 207	
中事業	01	心の家庭教育支援事業					所管部局	教育委員会事務局	生涯学習スポーツ課

予算額 当初	決算額	不用額
1,421 千円	1,389 千円	32 千円
前年度 1,410 千円	1,198 千円	212 千円

主な特定財源			
			千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

家庭の教育力の向上を図るため、現在子育て中の親が子育てに関する情報や学習機会を得られるよう支援体制を作り、地域全体で家庭教育を支えていく基盤の形成を促進する。

【事業の概要】

・子育て講座

小学校を中心に多くの親が集まる機会（就学時健診時等）を活用して、家庭教育についての学習機会を提供した。（４校）

・家庭教育支援チーム

元教員、元保育士・子育て経験者などで坂井市家庭教育支援チームを結成し、小学生などの子どもを持つ親(家庭)の心の教育と支援を行った。

・広報誌の発行

子育てに関する情報やアドバイスなどを掲載した広報誌「ほやほや」を年5回発行した。

○報償費		1,297千円
	子育て講座講師謝礼	40千円
	家庭教育支援チーム員手当（35名）	1,257千円
○需用費		64千円
	消耗品費	59千円
	食糧費	5千円
○役務費	家庭教育支援チーム員傷害保険料	28千円

【事業の成果と改善点等】

各地区ごとに家庭教育支援チームが実施する市内小学校への訪問は、子どもたちとの信頼関係も確立しつつあり、支援チームの訪問を心待ちにしている児童も数多くいる。また、子育て講演会に関しては、4回行い、受講者の満足感も高かった。コミュニティセンターや学校行事に併せた相談会なども実施し、子育てに関するアドバイスなど支援に取り組んだ。今年度から子育て支援センターへの広報配布も開始し、より多くの保護者に家庭教育の大切さや相談窓口について周知できるよう努めた。今後も、子どもたちの成長の支えとなれるよう、積極的に活動を進めていきたい。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	06	青少年愛護センター費
大事業	001	愛護センター事業						決算書 P. 207	
中事業	01	愛護センター事業					所管部局	教育委員会事務局	生涯学習スポーツ課

予算額	当初	決算額	不用額
	11,380 千円	9,882 千円	1,498 千円
前年度	11,376 千円	9,768 千円	1,608 千円

主な特定財源		
県支出金	青少年愛護センター運営費補助金	377 千円
		千円
		千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

青少年の健全な育成を阻害するおそれのある行為を、補導活動等により防止することによって、青少年の健全育成を図る。

【事業の概要】

○賃金	愛護センター職員賃金（４名）		7,355千円
○報償費	一般補導員手当（延べ1,267名）		1,140千円
○需用費			720千円
消耗品費		174千円	
燃料費		373千円	
食糧費		50千円	
修繕料		123千円	
○役務費			210千円
通信運搬費		129千円	
手数料		28千円	
自動車保険料		53千円	
○委託料			264千円
エンゼルロード警備保障委託		188千円	
コピー機保守点検委託		76千円	
○使用料及び賃借料			171千円
	コピー機リース料等	123千円	
	電話賃借料	43千円	
	有料道路通行料	5千円	
○負担金	全国青少年愛護センター連絡協議会負担金		14千円
○公課費	自動車重量税		8千円

【事業の成果と改善点等】

一般補導員３１８名による補導活動をはじめ各自治区懇談会や合同巡回街頭補導を実施した。今後もさらに各関係機関と連携した補導体制の充実を図っていく。

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
大事業	051	スポーツ推進委員運営事業						決算書 P. 219	
中事業	01	スポーツ推進委員運営事業					所管部局	教育委員会事務局	生涯学習スポーツ課

予算額	当初	決算額	不用額
	2,783 千円	2,319 千円	464 千円
前年度	2,275 千円	1,913 千円	362 千円

主な特定財源		
諸収入	雑入（大会参加料）	50 千円
		千円
		千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

スポーツ推進委員により、スポーツ活動の推進やスポーツイベントへの協力を行ない、市のスポーツ振興を図る。地域のスポーツの推進役として市民のスポーツニーズを把握し、市民が自主的なスポーツ活動を生涯にわたり継続して行なうことができるようサポートする。

【事業の概要】

地域のスポーツの推進役として地域住民のスポーツニーズを把握し必要な取り組みを行なった。また、市民が自主的なスポーツ活動を生涯にわたり継続して行なうことが出来るようサポートした。

- 派遣指導（マリン体操の普及推進、出前ニュースポーツ講座）24回/年
- スポーツイベントの開催　ニュースポーツ教室　年16回/延べ352人
  ニュースポーツ大会　25人
- 各種大会への協力　坂井市古城マラソン大会、坂井市民スポーツ祭他
- 会議等の開催　全体会1回、部会等19回、委員研修2回

○報酬	スポーツ推進員報酬（@32千円×40人）	1,280千円
○旅費	費用弁償	213千円
	全国スポーツ推進委員研究協議会（鹿児島県鹿児島市）	
	北陸地区スポーツ推進委員研修会（石川県白山市）	
○需用費	被服費・定期刊行物購読料・啓発用消耗品費	575千円
○役務費	傷害保険料	72千円
○使用料及び賃借料		14千円
	車両借上料・有料道路通行料	
○負担金		165千円
	会議・研修会参加負担金	86千円
	県スポーツ推進委員協議会負担金・会費	79千円

【事業の成果と改善点等】

ニュースポーツ教室・スポーツスタンプラリー大会の企画運営をはじめ、市古城マラソン・市民スポーツ祭への協力、マリン体操の普及など、市民のスポーツによる健康づくりに貢献できた。特に、福井国体のデモスポ競技であるドッヂビーの普及・指導に力を入れた。

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
大事業	101	保健体育事業						決算書 P. 219	
中事業	01	保健体育事務事業					所管部局	教育委員会事務局	生涯学習スポーツ課

予算額	当初	決算額	不用額
	326 千円	151 千円	175 千円
前年度	551 千円	493 千円	58 千円

主な特定財源			
			千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

スポーツ振興の充実を図るための事業を行う。スポーツ振興審議会では、スポーツ推進に関する重要事項について調査及び審議を通して建議を行う。

また、各種協議会に対し負担金助成を行う。

【事業の概要】

○報償費　協力者謝礼　4千円
（東京オリンピック事前キャンプ誘致活動）

○旅費　特別旅費　113千円
（東京オリンピック事前キャンプ誘致活動）

○役務費　通信運搬費　26千円
（東京オリンピック事前キャンプ誘致活動）

○負担金　8千円
県公立武道館協議会負担金　4千円
県体育施設協会負担金　4千円

【事業の成果と改善点等】

スポーツ振興計画に基づき、保健体育事務事業を実施した。

スポーツ振興審議会において、スポーツ振興計画の見直しを行う予定であったが、教育振興基本計画が延長されたことにより開催を見送った。2020年に開催される東京オリンピックの事前キャンプ誘致を目指し、過去に事前キャンプの実績のあるペルー共和国大使館を訪問した。今後も誘致に向けて積極的に取り組んでいきたい。

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
大事業	151	国体推進事業						決算書 P. 221	
中事業	01	国体推進事業					所管部局	教育委員会事務局	生涯学習スポーツ課

予算額	当初　流用	決算額	不用額
	4,357 千円	4,356 千円	1 千円
前年度	33,401 千円	31,406 千円	1,995 千円

主な特定財源			
			千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	△ 193 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

福井しあわせ元気国体において、坂井市では、サッカー競技とバレーボール競技が開催されるが、本市を訪れる選手・役員をはじめ応援観戦される人々が十分満足する魅力あふれる大会となるよう、開催準備を円滑に進める。

【事業の概要】

○施設等修繕料　898千円
丸岡B&G海洋センター自転車置場塗装　99千円
丸岡体育館床金具取替工事　799千円

○施設用備品購入費　3,458千円
バレーボール競技用ベンチ購入　467千円
体育館暗幕購入　2,991千円

【事業の成果と改善点等】

福井しあわせ元気国体バレーボール競技会で必要となる備品を購入した。また、プレ大会等で確認されたネット支柱固定用床金具の不具合修正や遮光用の暗幕を購入し、万全の状態で国体を迎えることができた。

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育振興費
大事業	001	スポーツ振興事業						決算書 P. 221	
中事業	01	スポーツ大会運営事業					所管部局	教育委員会事務局	生涯学習スポーツ課

予算額 当初	流用	決算額	不用額
5,700 千円		5,404 千円	296 千円
前年度 5,711 千円		5,361 千円	350 千円

主な特定財源			
県支出金	わがまち健康づくり応援事業補助金	20 千円	
		千円	
		千円	

予算流用(増減)額	△ 41 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

誰もが気軽に参加できるスポーツ活動の場を提供し、市民が生涯にわたって豊かなスポーツライフを楽しめるよう推進するとともに、各種競技大会を支援することにより市のスポーツ振興を図る。

【事業の概要】

坂井市古城マラソン大会　6月3日（日）
ゲストランナー　吉田　香織
参加者数　3,698人
坂井市民スポーツ祭　11月18日（日）
参加者数　2,831人
スポーツフェスタ・各競技大会・教室

○需用費　103千円
消耗品費　64千円
食糧費　39千円
○役務費　傷害保険料　46千円
○委託料　スポーツ大会委託料　4,800千円
坂井市民スポーツ祭
（(公財)坂井市スポーツ協会）　2,000千円
坂井市古城マラソン大会
（(公財)坂井市スポーツ協会）　2,800千円
○補助金　455千円
坂井市古城カップサッカー大会補助金　290千円
坂井・奥越地区高等学校野球大会運営事業補助金　100千円
広域スポーツ大会事業費補助金　65千円

【事業の成果と改善点等】

各種大会を開催し、スポーツの振興を図ることができた。市民スポーツ祭については市民のスポーツの普及や健康増進を図った。

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育振興費
大事業	001	スポーツ振興事業						決算書 P. 221	
中事業	06	スポーツ振興事業					所管部局	教育委員会事務局	生涯学習スポーツ課

予算額 当初	流用	決算額	不用額
36,279 千円		35,565 千円	714 千円
前年度 37,086 千円		37,085 千円	1 千円

主な特定財源			
		千円	
		千円	
		千円	

予算流用(増減)額	41 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

坂井市民のスポーツ振興に寄与する団体に対し補助金を交付し、競技スポーツ・生涯スポーツの推進、また、スポーツによる青少年の健全育成を目的とする活動を支援する。また、予選を勝抜き、全国大会以上の大会に出場する選手・監督を激励することで、市の競技スポーツの振興を図る。

【事業の概要】

○報償費　全国スポーツ大会出場激励金　3,841千円
・国体　85名
・全国高等学校総合体育大会　76名
・国際大会　8名
・その他全国大会　275名
計　444名　（87大会）
○需用費　消耗品費　7千円
○負担金　クロカンマラソン大会負担金　1,200千円
○補助金　30,517千円
坂井市スポーツ協会補助金　25,017千円
坂井市スポーツ少年団補助金　4,000千円
地域密着型トップスポーツチーム支援事業補助金　1,500千円

【事業の成果と改善点等】

各スポーツ振興団体の活動計画に沿った事業を実施した。国際大会、全国大会に出場する選手・監督に対し、激励金を交付し、大会での活躍を激励することにより、競技スポーツの振興を図ることができた。補助金交付については今後も効率的で効果のある団体運営を推進し、自主運営力を高める必要がある。

予　算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	03	体育施設費
大事業	001	体育施設管理事業						決　算　書 P.　221	
中事業	01	体育施設管理事業					所管部局	教育委員会事務局	生涯学習スポーツ課

予算額	当初　流用	決　算　額	不　用　額
	390,499 千円	380,705 千円	9,794 千円
前年度	509,278 千円	446,018 千円	63,260 千円

主な特定財源		
市債	合併特例事業債	80,800 千円
諸収入	地域海洋センター修繕助成金	7,800 千円
繰入金	まちづくり整備基金繰入金	26,000 千円

予算流用(増減)額	193 千円	予備費充用額	0 千円

【上記決算額内訳】

当該年度分	予　算　額	328,417 千円	決　算　額	320,500 千円
前年度繰越分	繰越分予算額	62,082 千円	繰越分決算額	60,205 千円
翌年度への繰越額		7,366 千円		

【事業の目的】

スポーツ環境の整備充実のため、体育施設の適切な維持管理及び運営を促進し、施設の安全性の確保とスポーツ振興及び利用の推進を図る。

【事業の概要】

◆体育施設維持管理事業

○旅費　特別旅費　40千円
○需用費　修繕料　99千円
○役務費　手数料・火災保険料（公有建物共済分担金）　721千円
○委託料　229,329千円
・学校開放事業等委託料
（(公財)坂井市スポーツ協会）　7,000千円
・坂井市体育施設指定管理委託料
（(公財)坂井市スポーツ協会）　179,829千円
・坂井市屋内温水プール・フイットネスセンター指定管理委託料
（アクアスポーツ㈱）　42,500千円
○使用料及び賃借料　29,214千円
・土地借上料　（体育施設用地借上料）　29,211千円
・有料道路通行料　3千円
○工事請負費　34,211千円
・三国運動公園樹木伐採工事　他11工事
○備品購入費　（三国運動公園陸上競技場 砂場カバー、おもり）　545千円
○負担金　1,079千円
・指定管理者修繕料負担金　1,069千円
・Ｂ＆Ｇ地域海洋センター連絡協議会負担金　10千円
○補償、補填及び賠償金　体育施設周辺補償費　292千円

【次頁へ】…

予　算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	03	体育施設費
大事業	001	体育施設管理事業						決　算　書 P.　221	
中事業	01	体育施設管理事業					所管部局	教育委員会事務局	生涯学習スポーツ課

…【前頁より】

◆体育施設整備事業

○工事請負費　丸岡スポーツランド駐車場整備工事　24,970千円

【前年度繰越分】

○公有財産購入費　丸岡スポーツランド駐車場整備に係る土地購入　23,339千円
○補償、補填及び賠償金　丸岡スポーツランド駐車場整備に係る移転補償　36,866千円

（　翌年度繰越　）

○工事請負費　丸岡スポーツランド駐車場整備工事（その２）　7,366千円

【事業の成果と改善点等】

各体育施設について、適時修繕を行うなど適正な維持管理に努め、利用者満足度の向上に努めた。今後は、体育施設の老朽化に伴い施設の統廃合を含めた整備の検討が必要である。

丸岡スポーツランド駐車場整備工事については、県営事業の用地買収に伴う駐車場整備工事敷地内の建物取壊しが完了しなかったため、翌年度へ繰り越しとした。

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
大事業	151	国体推進事業						決算書 P. 221	
中事業	01	国体推進事業					所管部局	教育委員会事務局	国体推進課

予算額	当初 補6号 流用	決算額	不用額
	275,324 千円	273,774 千円	1,550 千円
前年度	108,184 千円	108,058 千円	126 千円

主な特定財源	県支出金	福井しあわせ元気国体会場市町運営交付金	88,045 千円
	県支出金	わがまち健康づくり応援事業補助金	263 千円
	繰入金	地域振興基金繰入金	155,000 千円

予算流用(増減)額	7 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」並びに第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」の機運醸成を目的としたイベント等を開催すると共に、事前の準備と円滑な大会運営を行う。

【事業の概要】

◆国体推進事業

○賃金	(臨時職員賃金　3人)	8,138千円
○需用費	(消耗品費)	15千円
○役務費	(通信運搬費)	270千円
○委託料	(コピー機保守点検委託料)	307千円
○使用料及び賃借料	(パソコン賃借料)	498千円
○負担金		264,546千円

福井しあわせ元気国体坂井市実行委員会負担金

総務費

・委員会費（総会、常任委員会、専門委員会等の経費）

・事務局費（通信費、被服費、観戦ガイドブック、大会報告書等作製費）

開催事業費

・開催推進費
（大会記念品作製、ボランティア活動、合同配宿、許可イベント等経費）

・広報啓発費
（広報活動、国体・大会融合イベント、花いっぱい運動等啓発事業経費）

・本大会事業費
（正式競技、デモスポ競技、障碍者スポーツ大会、行幸啓等運営経費）

【事業の成果と改善点等】

第73回国民体育大会並びに第18回全国障害者スポーツ大会が開催され、坂井市では、国体正式競技のサッカーとバレーボール並びにデモンストレーション競技５競技が、大会ではフライングディスクとサッカー競技が開催された。

両大会の開催期間中、全国各地から多くの選手、監督、大会関係者や観客を坂井市に迎え、無事に両大会を開催することができた。

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	03	体育施設費
大事業	001	体育施設管理事業						決算書 P. 221	
中事業	01	体育施設管理事業					所管部局	教育委員会事務局	国体推進課

予算額	当初 流用	決算額	不用額
	19,903 千円	19,746 千円	157 千円
前年度	21,779 千円	20,519 千円	1,260 千円

主な特定財源	使用料	健康管理センター使用料	353 千円
	諸収入	雑入（三国運動公園施設指定管理者納付金）	11,914 千円
	諸収入	雑入（自動販売機使用料）	156 千円

予算流用(増減)額	△ 7 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

高齢福祉事業、子育て支援事業、保健センター事業を行う機能を有した三国運動公園健康管理センターの維持管理業務を他課と連携して行う。

【事業の概要】

◆三国運動公園健康管理センター管理運営事業

○需用費			15,582千円
	消耗品費	56千円	
	燃料費	502千円	
	光熱水費	14,467千円	
	修繕料	557千円	
○役務費			161千円
	手数料	146千円	
	火災保険料	15千円	
○委託料			3,936千円
	エレベーター保守点検	518千円	
	消防設備保守点検	108千円	
	清掃委託	2,787千円	
	電気工作物保守点検	166千円	
	ボイラー保守点検	194千円	
	その他	163千円	
○使用料及び賃借料	(さかいCATV使用料・NHK受信料)		67千円

【事業の成果と改善点等】

高齢福祉事業、子育て支援事業及び保健センター事業等、複合的な機能を有する施設として、年間約25,000人の利用があった。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	001	文化振興事業						決算書 P. 209	
中事業	01	文化振興事業					所管部局	教育委員会事務局 文化課	

予算額	当初	決算額	不用額
	4,001 千円	3,833 千円	168 千円
前年度	6,285 千円	5,445 千円	840 千円

主な特定財源		千円
		千円
		千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

文化芸術分野の全国大会以上に出場する市民に対し、大会での活躍を激励するとともに激励金を支給し、本市の文化芸術の向上を図る。また、市民が主体となって活動する「坂井市文化未来会議」を開催し、幅広く市民の意見を求め、市の文化施策推進を図る。

【事業の概要】

○報償費 459千円

全国大会等出場激励金	455千円
協力者謝礼（視察研修）	4千円

○需用費 184千円

消耗品費（事務用品）	2千円
食糧費　（会議用お茶）	4千円
修繕料　（青空ギャラリー作品看板修繕）	178千円

○使用料及び賃借料 144千円

車両借上料・有料道路通行料
（文化未来会議視察研修：京都市内）

○備品購入費　展示用備品購入費（文化祭展示用パネル） 3,046千円

【事業の成果と改善点等】

全国大会出場71個人・1団体に対して激励金を贈り、大会での活躍を激励した。坂井市文化未来会議では、一筆啓上賞で坂井市に深く関わりのある住友グループの関連施設（京都市内）を視察し、全国規模で事業を行う実状や継承していくうえでの取り組みを学んだ。（会議3回・研修1回）

【事業の実績等】

	平成30年度	平成29年度
全国大会等出場者数	71人・1団体	50人

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	001	文化振興事業						決算書 P. 209	
中事業	06	文化団体補助事業					所管部局	教育委員会事務局 文化課	

予算額	当初	決算額	不用額
	121,992 千円	116,201 千円	5,791 千円
前年度	45,622 千円	44,788 千円	834 千円

主な特定財源		千円
		千円
		千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

地域性豊かな伝統文化の継承と文化活動の振興を図ることを目的に、（公財）丸岡文化財団及び（公財）坂井市文化振興事業団、各種文化団体で組織する坂井市文化協会が実施する文化活動事業を支援する。

【事業の概要】

○補助金 116,201千円

丸岡文化財団運営補助金	48,875千円
坂井市文化協会事業補助金	3,200千円
坂井市文化振興事業団運営補助金	64,126千円

【事業の成果と改善点等】

丸岡文化財団が主催する一筆啓上賞は、市を代表する事業として定着している。また、まるおか子供歌舞伎では、他県で活動する団体との共演を交えるなど趣向を凝らした演出を行い、観客からも好評を得た。坂井市文化協会は、県内の市町文化協会が一堂に集う選抜美術展開催地として運営を行い、市内外の文化交流に大きな役割を果たした。また、恒例の市民文化祭も多くの来場があり、継続開催に向けた自己の研鑽と次世代育成・継承に努めていく。坂井市文化振興事業団は、ハートピア春江及びみくに未来ホールにおける舞台芸術公演の企画運営や、子どもミュージカルを始めとする地域団体の活動発表の場を提供するなど、市民の文化意識の向上や次世代育成に対して大きく貢献している。

【事業の実績等】

	平成30年度	平成29年度
一筆啓上賞応募数	39,468通	38,182通
文化協会会員数	2,308人	2,339人
文化協会活動事業数	76事業	86事業
文化振興事業団活動事業数	39事業	46事業

まるおか子供歌舞伎公演（出演者8人・観客900人）
かまぼこ板の絵とのコラボ展開催【場所：西武福井店・福井大学医学部附属病院】
子どもミュージカル公演（出演者63人・観客800人）

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	001	文化振興事業						決算書 P. 209	
中事業	11	文化活動支援事業					所管部局	教育委員会事務局	文化課

予算額	当初	決算額	不用額
	19,200 千円	18,348 千円	852 千円
前年度	40,200 千円	39,797 千円	403 千円

主な特定財源			千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

優れた舞台芸術公演を鑑賞する機会や発表する場を提供することにより、地域の文化芸術水準の向上や活性化を図るとともに、市民の文化活動への積極的な参加を推進する。

【事業の概要】

○委託料 18,348千円

文化祭業務委託料（坂井市民文化祭実行委員会） 4,148千円

公演業務委託料（坂井市文化振興事業団：21事業） 13,000千円

市民文化創造企画支援事業委託料（坂井市文化振興事業団） 1,200千円

【事業の成果と改善点等】

文化祭事業は実行委員会に委託し、市内４会場それぞれで芸能・展示発表を行い、いずれの会場も盛況であった。今後も、市内の文化ホール等を有効に活用しながら、市民の文化活動の活性化が図られるよう事業に取り組んでいく。公演事業では、音楽・古典芸能・演劇など様々なジャンルのアーティストによる公演を始め、地元出身の音楽家によるコンクールや有志者で構成する市民劇団の演劇など、市民参加・育成型事業にも取り組んでいる。今後もニーズに即した企画を取り入れていく。

【事業の実績等】

	平成30年度	平成29年度
文化祭来場者数	10,014人	10,257人
公演事業入場率（入場者数／設定席数）	81.0%	80.8%

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	001	文化振興事業						決算書 P. 209	
中事業	21	一筆啓上手紙の館管理運営事業					所管部局	教育委員会事務局	文化課

予算額	当初	決算額	不用額
	14,154 千円	14,148 千円	6 千円
前年度	14,200 千円	13,596 千円	604 千円

主な特定財源			千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

「手紙の館」の管理運営を担う（公財）丸岡文化財団は、一筆啓上賞の作品を始めとする手紙にまつわる企画等を展開し、丸岡城と連携した文化と観光の充実を図る。

【事業の概要】

○報償費 運営審議会委員謝礼（３名） 40千円

○役務費 手紙の館火災保険料 108千円

○委託料 事業運営委託料（丸岡文化財団） 14,000千円

【事業の成果と改善点等】

丸岡文化財団に「手紙の館」の事業運営を委託し、一筆啓上賞の作品や手紙をテーマにした企画展等を実施している。施設の運営状況に対して、引き続き運営審議会で検討・助言等を行いながら、丸岡城と連携した地域のにぎわい創出を図っていく。

【事業の実績等】

	平成30年度	平成29年度
手紙の館入館者（共通入場券入館者）	46,409人（35,354人）	47,027人（36,700人）

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	051	文化施設管理運営事業						決算書 P. 211	
中事業	02	文化の森・みくに市民センター管理運営事業					所管部局	教育委員会事務局	文化課

予算額 当初	補2号	流用	決算額	不用額
95,711 千円			89,919 千円	5,792 千円
前年度 120,207 千円			116,018 千円	4,189 千円

主な特定財源		
市債	合併特例事業債	16,800 千円
		千円
		千円

予算流用(増減)額	△ 296 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

文化施設の適切な維持管理を行うとともに、市民の文化活動の振興と文化的資質の向上を図る。

【事業の概要】

◆文化の森・みくに市民センター管理運営事業　本庁　89,797千円

- ○役務費　162千円
  - ハートピア春江・みくに市民センター火災保険料
- ○委託料　84,212千円
  - 文化の森・YURI文化情報交流館吊天井耐震改修実施設計　16,794千円
  - 文化の森・YURI文化情報交流館吊天井耐震改修設計監理　907千円
  - 指定管理者委託料（坂井市文化振興事業団）　66,511千円
- ○使用料及び賃借料　文化の森敷地借上料（18,875㎡）　3,820千円
- ○工事請負費　853千円
  - 看板設置工事費　756千円
  - 施設用器具設置工事費　97千円
- ○負担金　750千円
  - 指定管理者修繕料負担金（ハートピア春江空調設備修繕）

◆省エネ対策事業　本庁　122千円

- ○使用料及び賃借料　デマンド監視システム使用料　122千円

【事業の成果と改善点等】

ハートピア春江は、大規模改修に係る設計を行い、本格的な工事着手に向けて協議を進めていく。みくに市民センターは、移転後の本格稼働に入り、今後も施設の適正な維持管理を図っていく。市民の文化芸術活動の拠点として、両館の特性を活かしながら、市民の文化意識の向上を目指した施設の運営に取り組んでいく。

【事業の目標値と実績等】

	目標値	実績
ハートピア春江利用者数	108,000人	93,148人
みくに市民センター利用者数	18,000人	21,060人

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	051	文化施設管理運営事業						決算書 P. 211	
中事業	21	みくに龍翔館管理運営事業					所管部局	教育委員会事務局	みくに龍翔館

予算額 当初	補4号	流用	決算額	不用額
36,062 千円			34,810 千円	1,252 千円
前年度 34,292 千円			33,154 千円	1,138 千円

主な特定財源		
使用料	みくに龍翔館入館料他	2,408 千円
諸収入	雑入（町誌等頒布代他）	367 千円

予算流用(増減)額	296 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

坂井市の歴史、自然及び文化についての関心を高め、健全な教育、学術および文化の発展に寄与するとともに、歴史的文化遺産を市民共有の財産として適正に収集、保管、展示し、これらの資料に関する調査及び活用を図る。

【事業の概要】

◆みくに龍翔館管理運営事業　本庁　33,686千円

- ○賃金　臨時職員賃金（3名）　7,016千円
- ○報償費　講師・協力者・委員・指導・有識者謝礼　738千円
- ○需用費　9,463千円
  - 消耗品費（事務用消耗品・新聞代等）　488千円
  - 燃料費（ガソリン・重油・ＬＰガス）　2,763千円
  - 食糧費（会議用賄等）　12千円
  - 印刷製本費（パンフレット・資料等印刷）　294千円
  - 光熱水費（電気・水道料）　4351千円
  - 修繕料（冷却水ポンプ修繕等）　1,555千円
- ○役務費　957千円
  - 通信運搬費（郵便料・電話料）　292千円
  - 手数料（ダビング手数料・入館者斡旋手数料等）　433千円
  - 保険料（火災、自動車、展示・収蔵資料損害保険料）　232千円
- ○委託料　15,077千円
  - 施設管理委託料（エレベーター・空調保守点検、警備等）6,821千円
  - 樹木等管理委託料　745千円
  - 計画策定業務委託料（㈱丹青社）　7,317千円
  - 燻蒸委託料　194千円
- ○使用料及び賃借料　事務機器借上料・山車借上料等　388千円
- ○備品購入費　図書購入・展示用備品　38千円
- ○負担金　県博物館協議会負担金等　9千円

【次頁へ】…

予　算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	051	文化施設管理運営事業						決　算　書 P.　211	
中事業	21	みくに龍翔館管理運営事業						所管部局	教育委員会事務局 みくに龍翔館

…【前頁より】

◆みくに龍翔館展示事業　本庁　1,124千円

○報償費　指導謝礼、展示借上謝礼　203千円
○需用費　451千円
　消耗品費（大会・行事用消耗品費）　68千円
　印刷製本費（ポスター・パンフレット等印刷）　383千円
○役務費　運搬費、展示資料損害保険料　458千円
○使用料及び賃借料　12千円

【事業の成果と改善点等】

施設の老朽化への対応と坂井市の総合博物館づくりを進めるため、リニューアル検討委員会において基本計画を策定した。今後は、リニューアルの設計を行う。

坂井市の「三国湊」が日本遺産に認定されたのを記念し「北前船と三国湊―荒波を越えた男たちの夢―」を開催。日本遺産の構成文化財を特集展示した。また、福井県との連携事業「幕末明治福井150年博」の一環として特別展「幕末維新の知られざるヒーロー列伝」を開催し、幕末維新期に活躍した坂井市ゆかりの人物について紹介した。

市内施設からの資料移管や新収蔵資料の受入を行い、坂井市の資料収集・保存に努めた。今後は更に整理・目録化及び研究を進め、資料の利活用を図る必要がある。

【事業の実績等】

○日本遺産認定記念展「北前船と三国湊―荒波を越えた男たちの夢―」
　5月24日（水）～10月14日（日）　入館者数　4,941人
○特別展「幕末維新の知られざるヒーロー列伝～坂井市域の群像とゆかりの品々」
　10月27日（土）～12月2日（日）　入館者数　1,983人
○ミニテーマ展
　「写真からたどる福井震災」　7月24日（火）～12月28日(金)
　「年賀状とイノシシにまつわるおはなし」　1月10日（木）～2月11日（月）
○郷土史研究講座
　第1講「丸岡藩主有馬道純と幕末の政局」
　　9月15日（土）　講師　竹吉睦氏　参加者73人
　第2講「継体天皇を即位へと導いた河内の馬飼い集団」
　　3月10日（土）　講師　野島稔氏　参加者73人
○資料発行
　特別展パンフレット　10月27日発行　12頁2,000冊
　『みくに龍翔館研究紀要　第13号』　3月1日発行　60頁230冊
○みくに龍翔館リニューアル検討委員会（9名）4回開催　基本計画策定
○新収蔵資料登録点数　116点（寄贈93点、寄託22点、購入1点）

予　算	款	10	教育費	項	05	社会教育	目	08	文化振興費
大事業	051	文化施設管理運営事業						決　算　書 P.　213	
中事業	26	ＯＮＯメモリアル管理運営事業						所管部局	教育委員会事務局 みくに龍翔館

予算額	当初	決　算　額	不　用　額
	3,900 千円	3,638 千円	262 千円
前年度	2,343 千円	2,155 千円	188 千円

主な特定財源		
		千円
		千円
		千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

故小野忠弘氏の住宅兼アトリエの保存・活用を図るとともに、市民の現代美術に関する感性と創作意欲の向上に寄与する。

【事業の概要】

○報償費（高校生現代アートビエンナーレ、ふるさと坂井絵画展）　904千円
　指導謝礼　398千円
　参加賞・賞品・賞金　506千円
○旅費（費用弁償）　23千円
○需用費　885千円
　消耗品費（施設管理用消耗品・大会行事用消耗品等）　150千円
　食糧費（ビエンナーレ審査時等賄）　59千円
　印刷製本費（賞状・ポスター・パンフレット印刷）　308千円
　光熱水費（電気料・水道料）　360千円
　修繕料（施設等修繕料）　8千円
○役務費　83千円
　通信運搬料（電話料、切手代）　74千円
　火災保険料　9千円
○委託料　1,659千円
　施設管理委託料（警備保障、施設管理、樹木管理、清掃）1,125千円
　イベント事業委託料等　534千円
○使用料及び賃借料　84千円
　車両借上料（ビエンナーレ現地説明会時バス借上料）　84千円

【次頁へ】…

予　算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	051	文化施設管理運営事業						決　算　書 P.　213	
中事業	26	ＯＮＯメモリアル管理運営事業						所管部局	教育委員会事務局 みくに龍翔館

…【前頁より】

【事業の成果と改善点等】

第6回北陸三県高校生現代アートビエンナーレでは、計4回の実行委員会を開催。市内4会場でインスタレーションが行われ、現代美術における若い人材の発掘育成の契機となった。

また、アーティスト戸田正寿氏により常設展が2年ぶりにリニューアルされた。小野忠弘・松村忠祀が愛した雄島の林と夕焼けを表現した作品に、県内外から多くの来館者が訪れている。

ONOメモリアルの有効活用を図るため、現代美術の企画・運営の方法について、更なる検討が必要である。

【事業の実績等】

第6回北陸三県高校生現代アートビエンナーレ
- 出品数：34点（16校125名参加）
- 会場：ＯＮＯメモリアル、瀧谷寺、三國神社、丸岡城
- 展示：8月9日（木）～9月9日（日）

第12回「こどもが描く“ふるさと坂井”絵画展」
- 出品数：2,173点
- 会場：みくに龍翔館
- 展示：入賞作品200点、9月23日（日）～10月14日（日）

リニューアル常設展「小野忠弘 雄島の森展ー松村忠祀を偲ぶー」
- インスタレーション：戸田正寿氏
- オープニング演奏会　　3月23日（土）　参加者26人
- 展示：3月23日（土）から次回ビエンナーレまで

企画展「松村忠祀に選ばれし ものたち」
- 展示：3月23日（土）～6月2日（日）

予　算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	001	文化財保護審議会運営事業						決　算　書 P.　213	
中事業	01	文化財保護審議会運営事業						所管部局	教育委員会事務局 文化課

予算額	当初	決　算　額	不　用　額
	234 千円	187 千円	47 千円
前年度	235 千円	189 千円	46 千円

主な特定財源			千円 千円 千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

新たな文化財の指定や解除に関する諮問や、市の文化財保護施策に関する討議などを通して、文化財の保護を図る。

【事業の概要】

○報酬	文化財保護審議会委員報酬（8名）	184千円
○旅費	文化財保護審議会委員費用弁償	1千円
○需用費	食糧費（会議用お茶）	2千円

【事業の成果と改善点等】

指定・登録文化財について候補の審議を引き続き行うほか、年間計画等についても助言をもらう。

【事業の実績等】

委員数	会議開催数
9名	3回 (現地調査１回含む)

予　算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業						決　算　書 P.　213	
中事業	01	文化財保存管理事業						所管部局	教育委員会事務局 文化課

予算額	当初　補2号　補6号	決　算　額	不　用　額
	8,812 千円	7,609 千円	1,203 千円
前年度	8,029 千円	6,755 千円	1,274 千円

主な特定財源		
国庫支出金	文化財管理事業費補助金	117 千円
諸収入	雑入（参加者負担金）	9 千円
		千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

文化財の保存管理に必要な措置を講じ、貴重な文化財を後世に伝えるため、広く市民への公開や活用を通して、文化財保護意識の啓発を行う。

【事業の概要】

◆文化財保存管理事業　本庁　6,742千円

○報償費		533千円
	有識者謝礼（市内指定文化財調査協力謝礼）	13千円
	文化財管理奨励金	520千円
○旅費	特別旅費	289千円
○需用費		360千円
	消耗品費（子ども向け体験学習等消耗品）	136千円
	食糧費（子ども向け体験学習等材料）	5千円
	光熱水費（出世山古墳公園等電気料・上下水道料）	79千円
	修繕料（六呂瀬山古墳群解説看板修繕）	140千円
○役務費		34千円
	カモシカ処理手数料（2体）	22千円
	丸岡城関連施設・出世山古墳公園火災保険料	12千円
○委託料		3,546千円
	文化財管理委託料（古墳公園等清掃、草刈等）	3,060千円
	燻蒸委託料（丸岡歴史民俗資料館）	486千円
○使用料及び賃借料		243千円
	出世山古墳公園、銅鐸出土記念碑敷地借上料	146千円
	有料道路通行料	14千円
	画像編集用パソコンリース賃借料	83千円
○工事請負費	文化財看板設置工事（新保春日神社外2件）	373千円
○負担金	全国史跡整備市町村協議会負担金外2件	65千円
○補助金		1,299千円
	市指定無形文化財保存活動事業費補助金	676千円
	指定文化財保存事業費補助金	623千円

【次頁へ】…

予　算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業						決　算　書 P.　213	
中事業	01	文化財保存管理事業						所管部局	教育委員会事務局 文化課

…【前頁より】

◆日本遺産推進事業　867千円

○旅費	特別旅費	12千円
○需用費		175千円
	消耗品費（認定証額縁）	5千円
	印刷製本費（日本遺産認定周知チラシ・シール等）	170千円
○委託料	日本遺産認定周知横断幕制作設置業務委託	180千円
○負担金	北前船日本遺産推進協議会負担金	500千円

【事業の成果と改善点等】

出世山古墳公園の緑地維持管理をはじめ、文化財の維持・継承に努めた。今後も文化財保存管理を計画的に行う。

また、北前船の日本遺産認定を受けて、チラシの作成や配布など認定の周知を図った。今後も文化財についての情報の周知に努めていく。

【事業の実績等】

文化財補助件数

	平成30年度	平成29年度
無形文化財活動補助件数	8件	8件
指定文化財保存事業補助件数	3件	5件
文化財管理奨励金件数	39件	39件

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業						決算書 P. 215	
中事業	11	埋蔵文化財発掘調査事業					所管部局	教育委員会事務局 文化課	

予算額 当初	決算額	不用額
10,785 千円	8,939 千円	1,846 千円
前年度 7,990 千円	7,366 千円	624 千円

主な特定財源			
国庫支出金	埋蔵文化財調査費補助金	1,045 千円	
繰入金	まちづくり整備基金繰入金	5,000 千円	
		千円	
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

開発事業による埋蔵文化財の破壊や滅失を防ぎ、埋蔵文化財の保護と開発事業との円滑な調整を図るとともに、調査成果を広く公開し、文化財保護意識の向上と啓発を図る。

【事業の概要】

○賃金	丸岡城・六呂瀬山古墳群発掘調査作業員賃金（延35名）	960千円
○報償費	委員謝礼（7名）	122千円
○需用費		128千円
	消耗品費（調査作業用具）	123千円
	食糧費（会議用お茶）	1千円
	印刷製本費（写真現像焼付代）	4千円
○委託料		1,226千円
	試掘調査掘削委託料（22件）	1,223千円
	廃材処分委託料	3千円
○使用料及び賃借料	発掘調査機材借上料	180千円
○工事請負費	六呂瀬山古墳群アクセス園路整備工事	6,323千円

【事業の成果と改善点等】

埋蔵文化財の保護のため、開発事業における届出・調査に対する啓発に努めた。今後も、関係機関との円滑な調整を図るとともに、文化財保護に対する認識を高めていく。

【事業の実績等】

埋蔵文化財試掘調査等実施状況

	平成30年度	平成29年度	備考
発掘届受付件数	81件	52件	
試掘調査実施件数	24件	14件	
調査面積	344㎡	283㎡	
内容確認遺跡数	35件	20件	試掘件数＋工事立会い＋踏査件数
発掘調査	2件	1件	丸岡城＋六呂瀬山古墳群

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業						決算書 P. 217	
中事業	21	丸岡城関連施設管理運営事業					所管部局	教育委員会事務局 文化課	

予算額 当初	決算額	不用額
7,873 千円	7,635 千円	238 千円
前年度 10,221 千円	9,984 千円	237 千円

主な特定財源			
			千円
			千円
			千円
予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

丸岡城関連施設を指定管理者に委託し、丸岡城関連施設の円滑かつ現場に即した適切な管理を行い、丸岡城の観光の充実と地域の文化振興を図る。

【事業の概要】

○役務費		91千円
	丸岡城関連施設火災保険料	63千円
	丸岡歴史民俗資料館寄託資料損害保険料	28千円
○委託料		6,171千円
	丸岡城関連施設指定管理委託料（丸岡文化財団）	4,901千円
	丸岡城周辺樹木剪定・伐採業務委託料	1,270千円
○使用料及び賃借料		1,373千円
	丸岡城周辺土地借上料	

【事業の成果と改善点】

（公財）丸岡文化財団は、丸岡城周辺の一体的な管理運営を行い、観光面・文化面での賑わい創出を図る。

【事業の目標値と実績等】

	目標値	実績
丸岡城入場者	140,000人	128,158人

予　算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業						決　算　書 P.　215	
中事業	16	丸岡城国宝化推進事業						所管部局	教育委員会事務局 丸岡城国宝化推進室

予算額	当初	決　算　額	不　用　額
	13,899 千円	11,967 千円	1,932 千円
前年度	16,103 千円	11,618 千円	4,485 千円

主な特定財源			
県支出金	丸岡城国宝化推進事業補助金	2,180	千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	千円	予備費充用額	千円

【事業の目的】

丸岡城の国宝化に向けて、丸岡城の歴史的価値を明らかにするための調査研究を行う。
平成２７年度からの調査成果について、報告書として取りまとめて刊行する。
また収集した資料等を市民に公開し、市民の丸岡城に対する認識を高めていく。

【事業の概要】

○賃金（臨時職員賃金）		4,240千円
○報償費		1,186千円
委員、協力者謝礼	669千円	
専門調査協力員報償費	517千円	
○旅費（特別旅費）		118千円
○需用費		1,960千円
消耗品費（事務用消耗品）	45千円	
燃料費（灯油、ＬＰガス）	120千円	
食糧費	5千円	
印刷製本費（リーフレット）	1,290千円	
光熱水費（電気料、上下水道料）	454千円	
修繕料（施設等修繕料）	46千円	
○役務費　（郵便料、運送料、電話料、火災保険料）		224千円
○委託料		2,590千円
コピー機保守点検委託料	411千円	
丸岡城天守建築調査委託料（福井工業大学）	713千円	
丸岡城天守類例調査委託料（滋賀県立大学）	641千円	
丸岡城天守学術調査報告書原稿執筆業務委託料	825千円	
○使用料及び賃借料		603千円
有料道路使用料、会場使用料	44千円	
コピー機リース料	188千円	
機材借上料（画像編集用パソコン）	371千円	
○備品購入費		46千円
○負担金、補助及び交付金（丸岡城を国宝にする市民の会補助金）		1,000千円

【次頁へ】…

予　算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業						決　算　書 P.　215	
中事業	16	丸岡城国宝化推進事業						所管部局	教育委員会事務局 丸岡城国宝化推進室

…【前頁より】

【事業の成果と改善点等】

丸岡城調査研究委員会を３回開催した。また、構造部会を東京で１回開催した。
平成27～30年度に実施した丸岡城天守の総合的調査をとりまとめた「丸岡城天守学術調査報告書」を刊行した。今後は、調査で収集した資料をまとめた資料集や市民向け冊子等の刊行、及び市内外に向けたシンポジウムや講演会の企画・開催等で、調査成果を広く周知し、調査成果の認知度を全国的に高めて行く。

予算	款	13	諸支出金	項	02	基金費	目	09	丸岡城周辺整備基金費
大事業	001	丸岡城周辺整備基金						決算書 P. 229	
中事業	01	丸岡城周辺整備基金					所管部局	教育委員会事務局 文化課	

予算額	当初	決算額	不用額
	37 千円	19 千円	18 千円
前年度	6,060 千円	6,040 千円	20 千円

主な特定財源			
財産収入	城周辺整備基金利子	19 千円	
		千円	
		千円	

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

丸岡城周辺の整備及び丸岡城に関する資料の購入に必要な財源に充てるため、丸岡城周辺整備基金を設置する。

【事業の概要】

丸岡城周辺整備基金に係る運用益等の積立を行う。

○積立金 19千円

城周辺整備基金積立金（預金利息）

平成29年度末現在高 ①	平成30年度中増減額		平成30年度末現在高①-②+③
	取崩額 ②	積立額 ③	
190,538千円	7,000千円	19千円	183,557千円

【事業の成果と改善点】

城周辺施設駐車場整備のため、7,000千円を取り崩し、預金利子分を積み立てた。今後も目的に応じた基金の活用に努めていく。

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	図書館費
大事業	001	図書館管理運営事業						決算書 P. 217	
中事業	01	図書館管理運営事業					所管部局	教育委員会事務局 図書館	

予算額	当初	決算額	不用額
	122,121 千円	119,373 千円	2,748 千円
前年度	108,812 千円	107,559 千円	1,253 千円

主な特定財源			
諸収入	廃棄図書売却代	61 千円	
諸収入	図書カード再交付・コピー代・図書弁償金他	234 千円	
諸収入	自動販売機手数料	291 千円	

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

地域の情報拠点施設として４つの公共図書館を運営し、読書普及や情報サービスを提供することにより、地域や住民に役立つ図書館事業を推進する。

【事業の概要】

○報酬（図書館協議会委員）			90 千円
○賃金（臨時職員）			45,154 千円
○報償費（講師謝礼、協力者謝礼			738 千円
○需用費			20,924 千円
	消耗品費	8,674 千円	
	光熱水費	9,853 千円	
	修繕料他	2,397 千円	
○役務費			1,050 千円
	通信運搬費	765 千円	
	自動車保険料	108 千円	
	手数料他	177 千円	
○委託料			10,744 千円
	図書館管理システム保守	1,270 千円	
	清掃業務委託	3,965 千円	
	警備保障他	5,509 千円	
○使用料及び賃借料			16,440 千円
	図書館管理システム使用料	11,664 千円	
	図書データ使用料	2,581 千円	
	通信料他	2,195 千円	
○備品購入費			24,194 千円
	図書購入費	24,000 千円	
	施設用備品購入費他	194 千円	
○負担金（県図書館協会費、日本図書館協会費）			39 千円

【次頁へ】・・・

予　算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	図書館費
大事業	001	図書館管理運営事業						決　算　書 P.　217	
中事業	01	図書館管理運営事業						所管部局	教育委員会事務局 図書館

・・・【前頁より】

【利用状況】

４館合計

項目	平成３０年度	平成２９年度
来館者数（人）	461,682	443,992
貸出人数（人）	208,065	193,344
貸出冊数（冊）	860,183	798,142

【子どもの読書活動推進事業】

子どもの読書活

項目	平成３０年度	平成２９年度
子どもの読書活動推進事業講演会（人）	たかどのほうこ講演会　223	村上康成氏講演会　209
	たかどのほうこ原画展　960	村上康成氏原画展　5,270
ブックスタート（人）	627	624
おはなし会（人）	3,215	3,126

【事業の成果と改善点等】

市民が親しみを持てる図書館をめざし、くらしや趣味などに役立つ資料や情報の収集、整備保存に努めた。また、市内４館のネットワークや県内外の図書館間相互貸借を活用しながら、必要な情報や資料の提供を行った。さらに、多様な図書館行事を通じ利用者の増加を図った。

子どもの読書活動推進事業においては、児童文学作家のたかどのほうこ氏を迎え講演会及び原画展を開催し、親子及び読み聞かせボランティアへの読書活動推進に効果があった。引き続きブックスタート事業を行い、乳児の保護者やその家族から好評を得ている。またおはなし会等を通して、子どもたちが本に親しむきっかけづくりに努めた。

施設整備面においては、各館とも必要に応じ修繕や整備を行い快適な施設の維持管理を行った。

予　算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	図書館費
大事業	051	記念文庫等管理運営事業						決　算　書 P.　219	
中事業	01	記念文庫等管理運営事業						所管部局	教育委員会事務局 図書館

予算額	当初	決　算　額	不　用　額
	2,678 千円	2,658 千円	20 千円
前年度	1,520 千円	1,439 千円	81 千円

主な特定財源	諸収入	図書頒布代	40 千円
			千円
			千円

予算流用(増減)額	0 千円	予備費充用額	0 千円

【事業の目的】

中野重治記念文庫及び小葉田淳記念文庫の蔵書、遺品の維持管理・収集を行うとともに、記念講演会や行事を開催して、郷土の誇れる文学や歴史を次代に継承する。

【事業の概要】

○報酬費（講師謝礼）			123 千円
○需用費			927 千円
	消耗品費	225 千円	
	光熱水費他	702 千円	
○役務費（トイレ汲み取り料）			3 千円
○委託料（生家跡樹木剪定業務等委託料）			1,370 千円
	樹木剪定業務等委託料	1,290 千円	
	清掃委託料他	80 千円	
○使用料及び賃借料			230 千円
	仮設トイレ借上げ料	22 千円	
	防犯カメラリース料	208 千円	
○負担金（中野重治の会負担金）			5 千円

【行事の開催】

・くちなし忌　　８月１８日（土）
　式典、詩の朗読他　場所　中野重治生家跡　　参加者数　８０名
　記念講演　　演題　小説家の秘密「中野重治の見た森鴎外」
　講師　金山　嘉城氏（中野重治の会）
　場所　たかむく古城ホール　参加者数　１４７名

・小葉田淳記念文庫講演会　１１月１７日（土）
　演題　「坂井市、明治期の鉄道計画と敷設」
　講師　小谷　正典氏（元丸岡高校学校長・経済学博士）
　場所　たかむく古城ホール　参加者数　１２２名

【次頁へ】・・・

予　算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	図書館費
大事業	051	記念文庫等管理運営事業						決　算　書 P.　219	
中事業	01	記念文庫等管理運営事業						所管部局	教育委員会事務局 図書館

・・・【前頁より】

【見学者数】

中野重治記念文庫	年間	508名
小葉田淳記念文庫	年間	263名
今川節の部屋	年間	231名

【事業の成果と改善点等】

　中野重治記念文庫の貴重な生原稿等の資料の保存や整理を行った。くちなし忌及び記念文庫講演会等、文庫関係にちなんだ講演会を実施し郷土の偉人を顕彰した。

　中野重治記念文庫や今川節の部屋は一般開放されており、誰もが気軽に記念文庫の見学ができるようになっている。資料の保管について安全を図りながら遺品や資料の閲覧、研究活動の支援に努めた。

Ⅴ　有識者からの意見

平成３０年度　坂井市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検･評価に関する意見

坂井市社会教育委員　　日芳達也

「教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検・評価」は、教育委員会が的確で効果的な教育行政を行っているかどうかについて、市民に対しその報告をし、市民が坂井市の学校教育や社会教育等に意識をもって関わってもらうためのものと考える。

教育は、幼児から高齢者まで一生のあらゆる時期に応じて提供されるが、その学習内容も、学習の手段・方法も多種多様化し、急激な社会変化への迅速な対応が求められることもある。一方で、教育行政は市民にとって身近で関心の高い分野であるが、教育は結果が出るまで時間がかかり、その結果も把握しにくい特性から、業績評価することが難しいことも念頭に置いて確認を行った。

１　教育委員会の会議開催等の状況

５月からの新しい教育委員会制度のもと、定例教育委員会１２回及び臨時会１回を開催し３０件の附議事項が審議され、機能を果たしているものと判断できる。また、市長を交えた総合教育会議も２回開催され、市長と教育委員が教育施策の方向性を共有できている。今後も教育を取り巻く現状や市民のニーズの把握に努め、課題解決に向けて適正な活動を行ってほしい。

２　教育委員の活動状況

３２回の指導主事学校訪問を中心に実際の教育現場の把握に努めると共に、社会教育、芸術文化、スポーツとあらゆる教育関係行事に出席し、市の教育全体の発展･推進に深く関わっていることがうかがわれる。

３　委員会、審議会等の審議状況

学校教育、社会教育、芸術文化、文化財、スポーツと教育全領域にわたりその振興を目的とした会議・協議が適宜適切な内容によって開催されている。

４　教育委員会関係の許認可の状況

３０年度には新たに１件が追加され１２４件が許認可されている。市の貴重な文化財を後世に残していくことは重要であり、引き続き保護にも努めてもらいたい。

５　教育委員会関係事業別施策の成果

（１）教育委員会運営事業

１３回の教育委員会及び２回の総合教育会議により協議･調整が行われ､円滑な教育行政が行われている。また、表彰事業については９３名８団体を表彰し、さらなる振興に寄与している。

（２）教育委員会事務局事業

教育行政全般にわたる運営調整が図られていると同時に、教育振興会への支援を通して学校教育の振興が図られている。また、職員のメンタル面の対策がなされていることは重要である。

（３）小学校管理事業

令和２年度から順次全面実施される新学習指導要領においては、情報活用能力を学習の基盤となる資質・能力と位置付け、小学校でプログラミング教育が導入されることからも市内１９小学校に

おいて、ＩＣＴを活用する環境整備の促進が望まれる。また、ブロック塀改修工事の一部が国の交付金活用で行われているが、児童の学習環境が危険にさらされることがないよう先読みによって事業を進めてほしい。

（４）小学校施設整備事業

児童の安心･安全の確保という視点から校舎大規模改修工事と空調設備設置工事が計画的に行われている。市内小学校は市民の緊急避難場所でもあることからも老朽化に対する改修のみならず、今後の少子化による学校規模の縮小、近年の教育の多様化・高度化に対応した機能的な学校施設等の整備を行ってほしい。財政状況が厳しい中、国の補助金を積極的に活用し財源確保を図って事業を推進してほしい。

（５）中学校管理事業

○中学校管理事業

ＩＣＴ環境の整備や省エネ対策が適切に行われている。今後も、学校現場とのヒアリングの中から緊急性や必要性の高い内容の事業を進めてほしい。

○中学校施設整備事業

特別教室の空調設備設置工事に向けキュービクル容量変更に伴う実施設計業務委託を行ったことは、生徒の快適な学習環境の確保のためと考えられる。今後も施設整備という点では、校舎内だけでなく体育館やグラウンド及び附帯施設等の施設の損傷老朽に対しても復旧や修繕といった処置を講じて教育環境の改善に必要な施設の整備充実を図ってほしい。

（６）キンダーホール管理運営事業

公施設として利用を終了するまでには多角的視点での熟考を要し、大変な苦労があったことと考えられる。今後は児童･生徒の居場所であった当該施設の代替場所の確保が課題となろう。

（７）教育相談事業

昨年度に比べ小中学校共に不登校による欠席日数が３０日以上という児童生徒数が微増している。事業予算額が昨年度より増加しており、不登校対策に対する前向きな姿勢がうかがえる。また、事業実績でも復帰率が大きく増加していることは評価に値する。今後も、いじめ、不登校、児童虐待などの背景となっている家庭、地域、学校、友人関係等の環境に働きかけ、専門的な知識･技術を持つスクールソーシャルワーカーと関係機関との連携を図り、問題を持つ児童生徒の支援を充実していって　ほしい。

（８）学級運営支援事業

学級サポーターの存在は、特別に支援を要する児童生徒のため今や学校教育現場には不可欠なものとなっている。さらに学級サポーターのための研修会開催はそのスキル向上に努めている点、大きく評価できる。教員の授業運営や事務負担の軽減につながる学級サポーターや学校運営支援員の配置は、今後も充実が望まれる。

（９）小学校教育振興事業

○小学校教育振興事業

英語力向上、特にコミュニケーション能力の向上のためＡＥＴ配置や、道徳の教科化に伴う評価に関する研修が実施され、適切に事業が運営されている。中学校図書館司書と校区内小学校と教育委員との定期的な意見交換も学校図書の充実に向けて意義ある事業である。１９小学校において地

域と進める体験推進事業は、地域の特色を反映した大いに意義ある事業である。今後、さらなる事業内容の充実が求められる。

○小学校児童健康管理事業
　養護教諭による児童の健康保持･増進の指導を適切に行うためにも､学校医及び学校歯科医による健康診断は不可欠である。市内の多くの学校で学級閉鎖が行われている実情から、インフルエンザ等の感染症予防についての日常的な取り組みの支援事業を充実してほしい。また、ネット社会の拡大による子どもを取り巻く環境の変化については、危険ドラッグの流行等薬物乱用の低年齢化が指摘されている。薬物の危険性については小学校でも発達段階に応じた指導の工夫が求められるであろう。

○学校生活ボランティア推進事業
　地域住民によって読み聞かせや収穫体験活動が充実していることは大変望ましいことである。児童の学校生活を支援するという中に登下校ボランティアは含まれていないのだろうか。登下校ボランティアの障害保険加入については小学校によって様々なケースがあるようで、是非、的確な実態把握と対応を願いたい。

○ふれあい交流事業
　多様な交流事業が適正に行われている。今後も郷土に対する愛着や誇りの持てる交流事業の推進を希望する。

○学力充実推進事業
　学力調査を実施し学習課題の分析を行い、児童の学力向上と教員の指導力向上に資することは意義ある事業であり適切に行われている。

（１０）児童就学援助事業
　就学援助対象児童の保護者数は増加しているが、適正な援助が行われ保護者の経済的負担軽減が図られている。

（１１）小学校通学支援事業
　安心･安全な通学手段の確保が図られている。第２子以降の負担金無償化は、多子家庭の経済的負担軽減につながり意義ある事業内容である。

（１２）中学校教育振興事業
○中学校教育振興事業
　学校現場のニーズに合った事業が行われ、評価できる。「百聞は一見にしかず」は学習の１原点であり、生徒たちがその機会を得ることができる本事業は大いに意義ある。

○中学校生徒健康管理事業
　適切に執行されていると思われる。心身共に健康な生徒の割合を増加させるために、学校における保健指導を活用し正しい生活習慣を身につけさせる事業を今後も継続してほしい。また、小学校同事業でも記述したが、ネット社会の拡大により生徒を取り巻く環境の変化については、危険ドラッグ・大麻等の流行等薬物乱用の低年齢化が指摘されている。中学校では薬物乱用防止教室の実施等、発達段階に応じた指導が求められるであろう。

○クラブ活動推進事業
適切に執行されている。教員の働き方改革の対策及び生徒の競技力・技術力向上のため外部指導者配置を行っているが、今後も計画的に拡大してほしい。

（１３）生徒就学援助事業
就学援助対象生徒の保護者数は増加しているが、適正な援助が行われ保護者の経済的負担軽減が図られている。

（１４）中学校通学支援事業
遠距離通学者や部活動等で下校時刻が遅くなる生徒の安心･安全な通学手段の確保が図られている。第２子以降の負担金無償化は、多子家庭の経済的負担軽減につながり意義ある事業内容である。

（１５）学校給食管理事業
○学校給食管理事業
安全・安心でおいしい給食が提供されている。今後も児童生徒にふさわしい給食提供がなされていくことと、学校給食事業を通じた地産地消や地域振興への取組が推進されることを望む。

○丸岡学校給食管理事業
自校式５校２園、民間委託３校で行われているが、いずれも適正な衛生管理の下、安心･安全な学校給食が提供されている。また、地産地消の継続的な取り組みも行われている。

○学校給食施設建設事業（三国学校給食センター）
令和２年４月からの給食提供に向けて計画的に取組が行われている。

○三国学校給食管理事業
適正な衛生管理の下、中学校１校、小学校６校、幼保園３園、こども園１園に対し安心･安全な学校給食が提供されている。地産地消の継続的な取組も行われている。

○春江坂井学校給食管理事業
３，８００食という大量の給食提供が適切な衛生管理の下、行われている。地場産食材の使用率も６０％と高く、農業関連業者や地元生産者との連携がうかがえる。

（１６）社会教育事務事業
○社会教育事務事業
社会教育委員や社会教育指導員の活動を通し、社会教育の振興が図られている。生涯学習講演会では俳人夏井いつき氏による「句会ライブ」が大盛況であった。今後も、市民の郷土意識の高揚や地域活動の活性化が図れる魅力ある生涯学習の機会の提供が望まれる。

○社会教育団体補助事業
各団体への補助金は適正に執行されているが、今後は会費収入等自己財源の確保による補助金割合の適正化を促すとともに補助金額の段階的見直しの継続も必要と思われる。

（１７）市民運動推進事業
豊かで明るく、住みたくなるまちづくりを目指し、身近な地域での花壇づくりや市民大会開催により市民運動への意識向上と活動推進が図られている。

（１８）国際交流推進事業

グローバル化が進む現代における国際交流事業は、招聘・派遣事業いずれも大きな成果を上げるものと思われる。この種の事業はすぐにその成果が現れるものではないので、将来を担う市民への投資という視点で今後も適切に運営されることを希望する。

（１９）青少年健全育成事業

○子ども会育成事業

「壁新聞コンクール」に注力しての子ども会活動支援は大きな成果を収めたと思われる。子どもたちが自分たちの地域について自らが取材しまとめていく壁新聞づくりは、十分に達成感を味わえたことと思う。各コミセンや小学校での展示は、市内の各地域についての特色を同年齢の視線で捉えた情報源としても意義があったと思う一方、コンクールに参加していない子ども会があることは少々残念である。

○成人式事業

全国的には新成人が式で騒いだり、飲酒や暴力行為を起こしたりなど問題視されている例もあるが、法的にも社会的にも成人となったことを祝い、責任と自覚をもってもらうためにも必要な事業である。新成人の実行委員を中心に企画運営され、８０％近い参加者があったことは評価できる。

○わんぱく少年団事業

自然体験活動や国体デモンストレーション競技の体験等９回の活動を通して、１６名の参加児童は貴重な経験ができたと思われる。ジュニアリーダーが関わったことで、参加児童がジュニアリーダーに関心をもち新規メンバー確保にもつながり、健全な青少年の育成に貢献している。

○青少年育成坂井市民会議事業

「赤ちゃん抱っこ」や「心の教育講演会」は、事業目的に合った取組で意義あるものと思われる。「地域の子どもは地域で育てる」ということばがあるが、子ども会やＰＴＡ等子どもを取り巻く諸団体との事業連携を図り、今後一層の事業の充実をお願いしたい。

○放課後子ども教室推進事業

子どもたちの安心・安全な活動拠点を２５カ所確保すると共に、地域の実情に応じた様々な活動を体験させていることは大いに意義がある。家庭教育支援チームとの連携により今後一層充実することを期待したい。

○合宿通学事業

小学校では修学旅行や自然教室といった宿泊を伴う行事は実施されているが、自分の身の回りのことはすべて自分で行うといったことはない。自立心の育成と家族へ感謝する気持ちを養うという本事業は大変有意義で、坂井市の特色ある事業の一つである。できるだけ多くの児童に経験させたいと思うが、毎年各町１校の実施という制約が残念でならない。

○坂井・延岡ジュニア交流事業

市間の友好・親善を児童の立場で深めると共に、郷土の歴史や異なる地域の生活・文化に対する理解を深める機会となっていると思われる。

（２０）心の家庭教育支援事業

市内でも地域でのつながりが希薄化し核家族化が進む現在、広報、支援、相談活動等本事業のさらなる充実が求められる。また、放課後子ども教室事業との連携強化も図られることになればチーム員の増員も必要となろう。

（２１）愛護センター事業

補導活動による青少年健全育成に寄与する部分は大きい。今後も補導体制の充実と関係諸団体との連携強化を図ってほしい。

（２２）スポーツ推進委員運営事業

市民のスポーツニーズの把握や生涯スポーツの推進・サポートを的確に行い、スポーツを通しての健康増進に貢献している。

（２３）保健体育事務事業

東京オリンピックの事前キャンプ誘致を通して市民のスポーツに対する意識高揚を図る目的で適切に事業が進められている。

（２４）国体推進事業

福井しあわせ元気国体バレーボール競技会が万全の状態で迎えられた点で、適切に事業が進められたと思われる。国体が終了した今後は、この充実した施設や備品の適切な管理運営がなされることを願う。

（２５）スポーツ振興事業

○スポーツ大会運営事業

市民が気軽に参加できるスポーツの場の提供及び生涯スポーツの推進により、市民の健康増進に寄与できていると思われる。

○スポーツ振興事業

競技スポーツ･生涯スポーツの推進及びスポーツを通しての青少年健全育成に対する支援が十分に行われていると思われるが、事業費の８５％を補助金が占めている点が気になる。各種団体の更なる効率的運営や自主運営力向上に向けた創意が求められるのではないか。

（２６）体育施設管理事業

○体育施設管理事業

各体育施設の修繕・改修等維持管理が適切に行われている。

○国体推進事業

福井しあわせ元気国体並びに全国障害者スポーツ大会が市内でも盛大に開催され、多大な成果を収めたことからも事業がきわめて適切に行われたといえる。

○体育施設管理事業

三国運動公園健康管理センターのもつ複合的な機能を活かして、事業運営が適切に行われている。

（２７）文化振興事業

○文化振興事業

全国大会以上の出場者７１個人･１団体への激励金支給及び坂井市文化未来会議の開催など、適正に執行されている。

○文化団体補助事業

伝統文化の継承と文化活動の振興を目的に活動する諸団体を支援するための補助金が適切に交付されていると思われる。事業実績等に目を向けると、事業精選が行われたのか文化協会及び文化振興事業団共に１０近い事業数が減少している点が気になる。

○文化活動支援事業

市民の文化活動への積極的な参加を推進するため、市民文化祭実行委員会及び文化振興事業団への委託料が適正に執行されている。文化祭での芸能･展示発表の盛況ぶりや公演事業での市民参加・育成型事業への取組等その成果は大きいと思われる。

○一筆啓上手紙の館管理運営事業

丸岡城との共通入場券導入の昨年度とほぼ同数の入館者数を維持していることは、手紙をテーマとした企画展の実施等が功を奏していると思われる。今後も丸岡城と連携した文化と観光の充実を図ってほしい。

（２８）文化施設管理運営事業

○文化の森・みくに市民センター管理運営事業

文化芸術活動の拠点としての２施設の適正な維持管理が行われている。今後も市民が文化芸術を身近に感じ、体験的に活動したり、質の高い文化芸術を鑑賞したりできる場と機会の充実を図るため、引き続き文化芸術活動の拠点として管理運営を行ってもらいたい。

○みくに龍翔館管理運営事業

管理運営事業は適正に行われている。老朽化への対応と市の総合博物館づくりを進めるという大きな課題があるが、来館者の多様なニーズに応えるためにも今後も魅力ある展示活動、普及活動の継続に努めてほしい。

○ＯＮＯメモリアル管理運営事業

現代美術における若い人材発掘育成の契機となる企画やアーティスト戸田正寿氏による常設展のリニューアル、小野忠弘氏の雄島の森展など館の運営目的に適した執行が行われている。

（２９）文化財保護審議会運営事業

審議会の目的に沿った適切な運営が行われている。

（３０）文化財保存事業

○文化財保存管理事業

出世山古墳公園の緑地維持管理をはじめ、文化財の維持･継承という事業が適正に行われている。

○埋蔵文化財発掘調査事業

開発事業による埋蔵文化財の破壊や滅失を防ぎ、その保護と開発事業との円滑な調整が適切に図られている。

○丸岡城関連施設管理運営事業

丸岡城周辺の一体的な管理運営は委託先の(公財)丸岡文化財団によって適切に行われていると思われる。今後も手紙の館等の文化施設と連携した文化面と観光面での充実を図ってほしい。

○丸岡城国宝化推進事業

丸岡城の歴史的価値を明確にするための調査研究が適正に行われている。今後も関係機関や専門家との連携を図り、所期の目的を達成してもらいたい。

（３１）丸岡城周辺整備基金

基金の活用が適切に行われている。

（３２）図書館管理運営事業

地域の情報拠点として４館で適切な管理運営がなされている。今後も市民の知的欲求に応えるべく本を利用しやすい４館のネットワークやサービス体制の拡充、読書活動推進につながる企画等を行い、効果的・効率的な図書館運営を行ってほしい。

（３３）記念文庫等管理運営事業

郷土ゆかりの中野重治、小葉田淳両氏の文学遺産を継承し、その業績を収めている記念文庫の価値は高い。この記念文庫は市民の宝であり、今後とも適切な維持管理を行ってほしい。

坂井市教育委員会の事務の管理及び執行状況の
点検・評価報告書に関する確認結果等について

坂井市 PTA 連合会
会長　宇野　宗則

◆総評

平成３０年度の坂井市教育委員会の活動、および事業別施策に関して、各活動・事業とも坂井市民の教育向上、生活向上に繋がっていると高く評価いたします。

なお、確認・審査結果等は以下のとおりです。

１．平成３０年度　坂井市教育委員会の活動状況

○教育委員は適切な人員・人数で構成されていると評価します。

○委員会会議の開催状況は、定例及び臨時委員会を年間１３回、３０件の附議事項を審議し、坂井市教育行政の運用の為に必要な内容であり、適切な委員会開催状況であると評価します。

○教育委員の活動状況は多くの教育関係行事（各種式典・会議・イベント）に各委員が出席され、その活動内容についても、高く評価します。特に教育長におかれては、行事のほとんど全てに出席されているほか、教育行事以外の地域行事や会合等にも積極的に参加されていることに敬意を表します。なお、働き方改革が提唱されている今日、業務の分散化や効率化なども検討し、健康にご留意ください。

○指導主事学校訪問においては、市内のすべての小中学校を１～２回程度訪問し、各学校の様子を察知し、適切な指導を行ったことについて高く評価します。

○委員会、審議会の審議状況については、多様な内容について協議を行っていると高く評価します。特にスポーツ推進、文化振興、文化財保護関連に、多様な会議・視察を行っており、市民の健康増進、生涯学習の振興に寄与していると思料します。

加えて、福井国体に関する多くの項目について協議され、万全な準備のもと、無事大会が成功裏に終了したことについて、高く評価するとともに、一市民として大変喜ばしく思います。

○教育委員会関係の許認可の状況については、文化財の指定状況を確認しました。今後も各文化財の維持管理の適正化や丸岡城の国宝化に向けて、さらなる市内文化財の充実を期待します。

２．平成３０年度　事業別施策の成果報告について

【教育総務課関係】

○教職員メンタルヘルスの維持向上を目的としたストレスチェックなど行い、教育振興に努めている点を高く評価します。

○小中学校の維持管理について、災害や日常の危険防止のための改修工事を実施するなど、子供たちの安全安心を確保し、さらに省エネを意識した管理をされていることを評価します。引き続き、様々な教育環境の向上・改善を期待します。
（※なお、下記３．（１）に本件に関する意見を記載しました。）

【学校教育課関係】
○児童・生徒の不登校や心の悩み、様々な理由による学習・生活支援のためのスクールソーシャルワーカーや学級サポーターの拡充・魅力ある学校づくりに向けた取り組みなど、学校教育環境の充実を図っていると高く評価します。
（※なお、下記３．（２）に本件に関する意見を記載しました。）
○内科・歯科検診、各種検査の実施などの健康維持管理・推進、および診断結果に基づいた養護教諭による健康課題に関する指導に取り組んでいる点を高く評価します。引き続き、健康管理の取り組みをお願いいたします。
○学力向上のための取り組みとして、児童の確かな学力を分析し、傾向や課題解決を目的としたワークショップの開催等により、教員の指導力向上を図っていることを評価します。
○経済的な理由により就学が困難な子供たちに対する支援等、高く評価します。今後も、すべての子供たちが十分な教育を受けられるよう、就学支援が必要な子供たちへのご支援をお願いいたします。
○クラブ活動推進事業においては、部活動の技術力・競技力による意欲向上につながっているものと評価します。教員の多忙化や指導者不足、施設不足による部活動のあり方に検討が必要となっております。外部指導者のあり方や活動・運営方針などのご検討及び更なる充実を希望します。
（※なお、下記３．（３）に本件に関する意見を記載しました。）
○給食関係の事業について、安全・安心かつ地産地消を意識した食材を使用し、子供たちがおいしく食べることが出来る給食の提供を行っていると評価します。引き続き食育を大切にしていただきたいと思います。

【生涯学習スポーツ課関係】
○社会教育団体補助事業に関して、地域社会力の向上や社会教育を通し、青少年の健全育成を目的とした社会教育団体への活動支援に協力していただけていると高く評価します。また、当連合会への補助につきまして、厚く御礼申し上げます。
○国際交流事業では、ますますの国際化社会へ向けての人材育成に大きく影響している事業と高く評価します。海外への派遣だけでなく、来日した生徒と交流できる機会など、多くの機会を与えられているものと評価します。引き続き継続と多くの生徒たちに交流できる機会が増えるよう希望します。
○子ども会育成事業のうち、ジュニアリーダーの活動について高く評価します。市内青少年

のリーダーとして素晴らしい人材が育成されていることを大変嬉しく思います。今後も、より充実した活動ができるよう継続した支援と育成を期待します。

○成人式事業に関しては、８０％近くの出席率で高く評価できる事業だと思います。今後の成人式も、新成人が郷土に感謝し、郷土愛を育み、郷土の発展を担う決意に繋がるような内容であることを願います。

○青少年育成市民会議での赤ちゃん抱っこ体験学習は、命の教育など子供たちが健全に成長していくための環境づくりとして、大変有意義なものだと思います。

○放課後子ども教室、わんぱく少年団事業、合宿通学事業など、地域や坂井市内の施設、自然とのふれあい、様々な体験を通し子どもたちの成長につながると共に、地域との交流の良さなども感じてもらえる、すばらしい事業であると評価します。合宿通学は数年に一度しか体験できない事業であり、より多くの児童が体験できるようお願いします。

○坂井・延岡交流事業について、子供たちの交流を通じて、将来的な両市の絆を強められるほか、郷土の良さを再認識できること、学校の垣根を超えた新たな交友の場として、とても意義のある事業なので、今後も是非継続してほしいと思います。
（※なお、下記３．（４）に本件に関する意見を記載しました。）

○心の家庭教育事業に関して、支援チームとの信頼関係が充実し、訪問を心待ちにしているとの報告を受け評価できる事業であると思います。家庭ということなので、保護者へのアドバイスや交流がさらに増えると良いと思います。

○スポーツ推進委員運営事業、スポーツ大会運営事業においては、市民の健康増進とスポーツ振興に大きく貢献していると評価します。

○昨年開催された国体事業に関して、市民が一体となって大会を盛り上げ、成功裏に終了したこと、大変喜ばしく思います。特に子供たちは、一流の技と力を間近で見るなど、貴重な体験が出来たのではないかと思います。今後は、市民の健康増進、スポーツ推進を継続させるとともに、国体のため充実させた施設を有効に活用していただきたいと思います。

【文化課関係】

○文化振興・文化活動事業に関しては、様々な文化活動支援の充実に取り組まれていると評価します。一筆啓上賞などは全国的にも有名になり、坂井市の PR にもつながっております。県外から多くの人が訪れる施設や文化活動を継続して活動・継承・保存していけるような支援を引き続きお願いします。

○みくに龍翔館管理運営事業について、様々な企画展示を行うなど、坂井市の歴史や文化を市内外に向けて紹介する取り組みは高く評価します。

【図書館関係】

○図書館管理運営事業に関しては、インターネットの普及による活字離れが進行しているなか、30 年度利用状況は増加しているようですので、これからも継続して市民の読書率の

向上に向けた支援をお願いします。

３．確認・審査結果に伴う意見等

（１）省エネ対策事業について

電気容量の不足により、本来最も冷房が必要であるはずの時間帯にエアコンが使用できない事態が発生しております。近年、これまで以上に気温が上がる日が続く傾向が見られるため、熱中症の危険が高まっております。これではせっかくエアコンを整備していただいた意味がありませんので、電気容量の拡大等の対策をお願いします。

（２）学級運営支援事業について

本件は主に気がかりな子供たちに対しての支援ですが、逆のケースである、一般よりも知能の高い子供たちへの対応も考えていただけないでしょうか。それらの子供たちにとって学校の学習速度は遅すぎるため、授業や宿題が無駄な時間になっている場合があります。海外ではギフテッドと呼ばれるそれらの子供たちの能力を最大限に高めるために、特別な支援を行う地域もあるという話を耳にしました。ぜひ坂井市でもそのような対応をご検討いただければと思います。

（３）クラブ活動推進事業について

先生の働き方改革で部活動数を減らす動きがありますが、それが問題解決になっているのでしょうか。現状は先生が授業の準備にあてる時間を部活動の顧問として生徒を指導する時間に取られてしまい、超過勤務や仕事の持ち帰り（つまりサービス残業）が常態化しているように見えます。勝利や入賞を目指した部活動となっている現状、学校や保護者からの過度な期待があることは避けられず、先生方の勉強や生活指導に向けられるべき力が部活動に偏る原因になります。勝利や入賞を目指す活動は地域のクラブチームやボランティア団体に入って行う形に移していくべきではないでしょうか。

（４）坂井・延岡ジュニア交流事業について

今年は坂井市 PTA 連合会から 2 名参加させていただきました。大変素晴らしい事業ですが、3 日間仕事を休む必要があるため、非常に負担が大きく、来年度以降、同じ人数を連合会から出すことを保証することはできません。連合会枠は最大 2 名とし、0 名でも継続可能な事業にしていただけないでしょうか。

以上